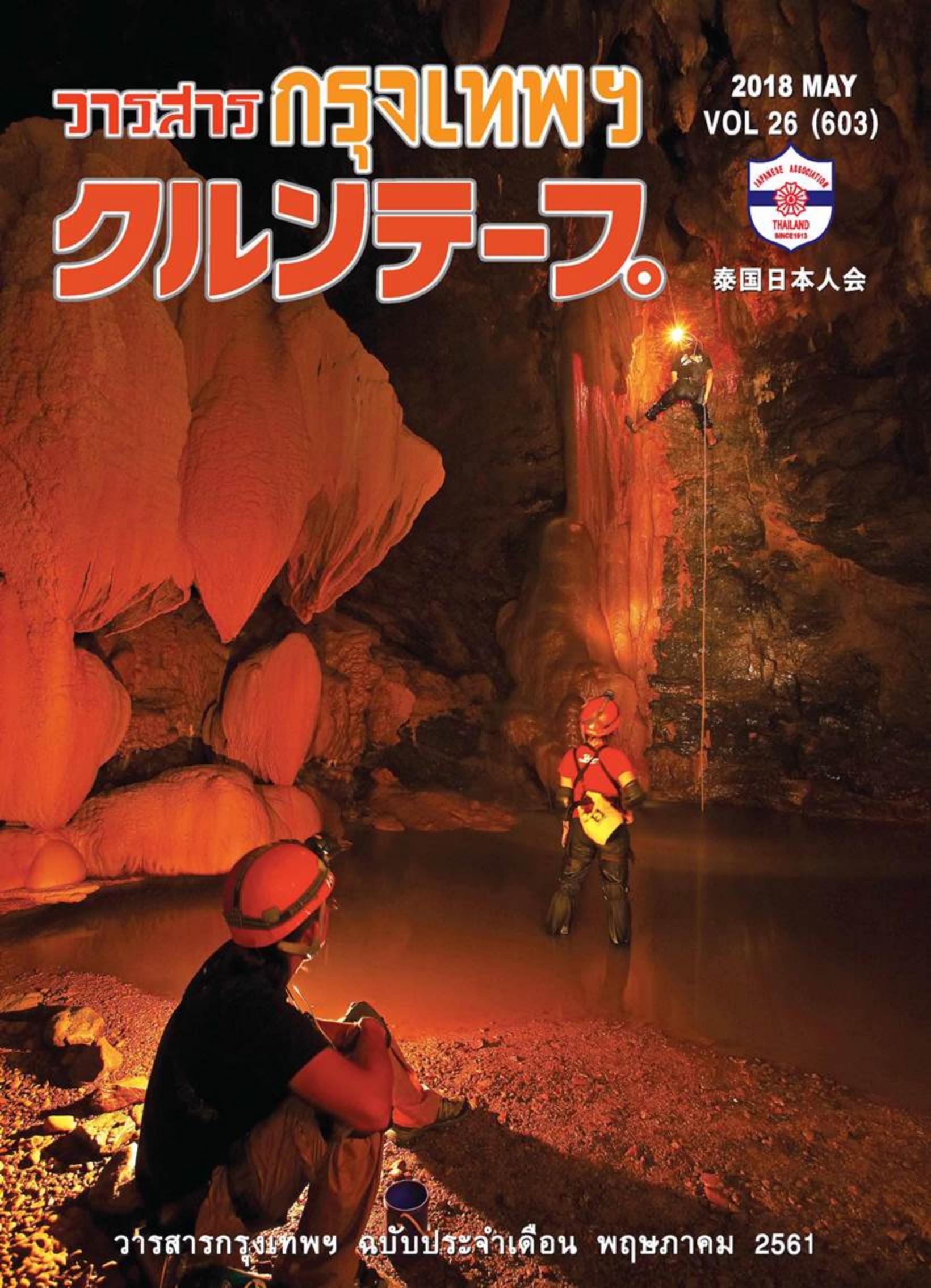


วารสารกรุงเทพฯ ครุฑพุ ครลนท์เทฟ.

2018 MAY
VOL 26 (603)



泰国日本人会



วารสารกรุงเทพฯ ฉบับประจำเดือน พฤษภาคม 2561

ດារសារ ក្រោមពាណិជ្ជកម្ម クルンテープ。

2018 May

VOL 26 (603)

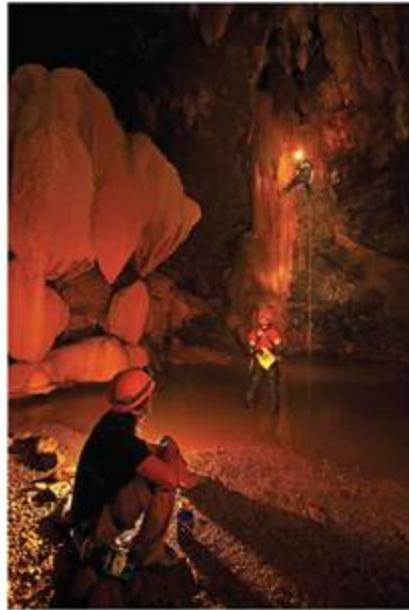


写真提供：タイ赤十字社
Photo Credit : Thai Red Cross Society

P45



P26



表紙：ティップチエ洞窟

場所：カーンチャナブリー県トーンパーム

UNSEEN THAILAND 未だ見ぬタイへ ⑤

ラムクローンゲー国立公園のティップチエ洞窟。高さ25メートルの滝の洞窟を下降すると底部に。洞内は気の遠くなるような年月が作りあげた幻想的な鍾乳石と石筍。ロープを使って下降したり、険路をひざをついて進む、かなり冒険度の高い探検ツアーが10月～6月まで行われているそうです。洞内の距離は約1キロですが所用時間は5～6時間！

5月号 目次

【特集】

「炭で土壤改良」

定年後にタイで粉炭作りを始めた元エンジニア喜多村美孝さんに聞く

【活動報告】

20 新堂守・小川大勇師の得度式が行われました【事業部】

22 第29回タイを知る会のつどい開催 【文化部】タイを知る会

23 日本人会春季将棋大会 【文化部】将棋同好会

24 第14回定期演奏会開催報告 【文化部】バンコク混声合唱団

26 2017年度タイ国日本人会『成人の日祝賀会』開催 【厚生部】

30 春季彼岸法要 【事業部】

31 第27回タイ国元日本留学生協会・日本人会親善ゴルフ大会開催報告 【運動部】ゴルフ部

46 フォト掲示板

【投稿】

32 裏千家バンコク協会～日タイ修好130周年記念行事に協力して
アユタヤー日本人村改修記念式典でのシリントーン王女殿下への御献茶
並びにバンコク国立博物館「日本美術のあゆみ」展の日タイ友好茶会
茶道裏千家淡交会バンコク協会 会長 プーイ文子(宗文)



【作品発表】

35 バンコク短歌会

44 メナム句会

【連載】

08 河の都アユタヤー レヌカー・M

トライローカナート王の大本生経(2)

P49

14 バンコクの日本人 村崎英治

泰国日本人会の前身 日本人俱楽部の創設

49 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子
黄金の星ダーラートーン 華やかな縁飾りはスイカの種の金平糖

【広報欄】

36 理事会議事録(3月度)

41 バンコク子ども図書館 5月の新着本紹介

41 別館一般図書館 新刊図書紹介

43 日本人会会員証を使えるお店

45 タイ赤十字社にてタイ国日本人会寄贈の献血車贈呈式
会員動向

47 ゴルフ部月例会成績

48 編集後記

51 すぐく通信 Vol.1

●特集

「炭で土壤改良」

定年後にタイで

粉炭作りを始めた

元エンジニア

喜多村美孝さん聞く

土にまけば植物の根の生長を促す。水に入れれば水質を浄化。
飼料に混ぜれば家畜の整腸作用。床に敷けば精神安定効果あり。

そんな粉炭に惚れ込んだ元エンジニアの喜多村さん。
タイにふんだんにある廃棄物・ヤシ殻で粉炭の製造を始めました。

語り手・喜多村美孝 Yamasen Asia R&D Limited (Y.A.R.D)

炭の粉で土壤改良

Q 現在の事業を「説明ください」。
タイ中部のナコンパトム県にある自社工場で粉炭を製造し、販売しています。

Q 粉炭とは？

文字通り炭を粉状にしたもので。炭は粉炭という形にすると、普通の炭とはまた違う効能があり有効活用できるのです。

まず、土にまけばバクテリアの巣となり、水分保持機能を有しているので根の成長を促します。水に入れれば水質を浄化します。これもバクテリアの効果ですが。さらに、飼料に混ぜれば家畜の整腸作用を促します。丸には粉炭が入っていますし、タイの整腸剤は粉炭そのものです。床に敷けば精神安定効果があり生き物の生育に効果があるのです。私が製造方法を学んだ日本の炭焼き工場では、犬、猫やイノシシ、鹿等も粉炭の山にねそべって癒していました。

Q 粉炭によってなぜ土壤がよくななるのか、もう少しお話しいただけますか？
炭の空孔に水やバクテリア等の微生物が棲み込むことにより、植物の根の成長が促され、

結果として植物がよく育つ土になるということです。

また、炭は若干のアルカリ性（pH 8～9）をもつています。痩せた土地というのは酸性が強い（pH 6～7）ので、それを植物が育ちやすい pH（ペーー）にもつていくことができます。ちなみに中性は pH 7・5です。

タイで粉炭製造を始めた理由

Q ところで、どのようなきっかけで粉炭の製造を始めたのですか？

タイで粉炭製造を始めた理由と今までの経過を順を追つてお話ししてみたいと思います。

私は間もなく70となろうという世間で言うお爺さんです（？）。タイにはもう足掛け30年近く関わってきました。初めてタイに来た時を含めると40年



ナコンチャイシーに建設した工場(ナコンパトム県)



炭を製造中



炭を焼く窯



喜多村美孝さん（左）とご子息の昭吾さん



粉炭の商標はカエル。そのこころは「土にカエル」

になるでしょうか。

1988年（昭和63年）7月に1回目の駐在。約6年半の任期を終え帰国しましたが、その後も業務の関係で年数回はタイを訪れるることを繰り返し定年を迎えるました。

在任中はバイクのエンジン現地調達化規制対応や排気ガス規制対応で時の政府とやりあつた思い出があります。

話は飛びますが、定年後少しフラフラしていた時に、タイの革屋さんから日系企業対応のアドバイザーの要請があり、またドバイまで来てしましました。ここで私の人生は2度目の転機を迎えます（1度目は初めてのタイ駐在の時です）。

この革屋さんは世界中から牛の生皮が塩漬け状態で運ばれています。それを塩抜きし、ナメして車のシートに加工します（本革シートというやつです）。その輸入する量たるや月々200～3000トン（たぶん世界最大規模のナメシ屋さんです）になり、その際に木のパレット（運び台）で持ってくるのですが、そのパレットの重さも150～200トンになつていました。

皮が重く、また木にも塩がまわっているため、再利用は不可

の状態で、お金をつけて処分してもらっていました。

社長は金を払つての処分が嫌で、何とか再利用の道がないか探していたところ、炭にすれば良いとの情報を得たようで、当方に調査の指示が出ました。

調べたところ、既存のタイの炭の窯では最大月10トン程度の材料処理能力しかなく、とても要求には届きませんでした。その中で、日本に月200トン程度の材料処理能力の窯があることを知り、調査に行ってきました。

行った所は島根の山奥で、山の仙人と呼ばれていた人の炭焼（正確には粉炭製造）の工場でした。そこでは間伐材をチップにした原料をベースに、主に廃材と呼ばれる木質形材料を直接粉炭という形に焼いていました。それも月産40トンという量を（原材料は200トン必要です）。そこで私は、先ほどお話をしたように、炭は粉炭という形にすると全く違う有効活用があることを知りました。また、粉炭そのもののカロリーは重油レベルであり、重油ボイラーリも代替燃料として可能であるといふこと、そして原材料として

は纖維質のものであればどんな木でもかまわないし、木である

必要もないことを知り、もともと木を切つて炭にした結果、自然破壊をしてしまうことには批判的であつた私もすっかり惚れ込んでしまつた次第です。

会社設立

Qそれで工場を建設することになつたのですね。

いえ、それが……このことを社長に報告し、初期投資もポケットマネーですむということを強力に進めていたのですが、実施の段階まで駒を進めた時に、

例の自動車不況（時の首相の自動車購入優遇政策の反動での購買不振）となり、売り上げ低下、事業の見直しがあり、遊び（？）に金を使つてはいられないとのことで中止となつてしましました。

当方としては、企業イメージUP（革産業は臭い、汚い、キツイの3K職場の典型です）にもなるし、たいした金でもないのであるからと薦めたのですが、社長の意志は変わらず復活しませんでした。

Qボツになつてしまつたのですか？

そうです。しかし当方としては、せつかくのこんな有益なことを止めてしまうのはもつた

ない、自分でできないかと思うようになりました。その時の思考をたどつてみると…。

①今までお世話になつたこのタイに對し、何か恩返しをすることはできないか。

②タイの土壤は、収量増産のため、化学肥料と農薬でどんどん地力が低下していると聞く（王室プロジェクトでも、国王が土を自然に帰そうと推進していると聞く）。

③粉炭は土壤回復に最適の材料である。

④原材料としては、植物残渣（カスです。サトウキビや、タピオカの搾りカス、ヤシ殻、トウモロコシ等々）が沢山あり、木のチップがなくとも対応できる。

⑤設備投資金額もコンクリートと鉄の釜ですみ、個人でも何とかなるレベル。

⑥人に関しては、タイ人の昔の会社時代の同僚が、話をすると手伝ってくれるとのこと。彼らは同年代で京大を卒業した強力な助つ人でした。

ということで何とかできそうだと決めてしまい、革の会社を辞め会社を起こしました。

当方は技術担当GMということ

でスタートしました。代表権をタイ人になると会社を乗つ取られるよとよく聞きますが、当方としては彼が乗つ取るならそれはそれでよいことだとの思いで、タイ国内対応は全て彼に任せています。

Q ご自分で会社の設立となると、また大変ですね。

いろいろな問題が出ました。事務所の場所、工場の場所、人の募集、製品が出来た時の販路の問題等々。ここで彼の顔の広さが大いに役立ち、事務所も安く借りることができ、工場も提供してくれる人が場所を提供してくれることが決まり、5ヶ月で工場での火入れができました。

場所はスパンブリーです。設備一式&工場レイアウトまで自分で図面を引き、ローカルの業者にやつてもらい費用を浮かせました。

失敗の連続 そして移転

まず粉炭の製造工程が日本では木のチップに対し椰子ガラであつたため、日本での研修がまったく役に立たず失敗の連続でした。

そこで、当時タイに遊びに来

ていた次男坊が、あまりの失敗の程度に、なぜ日本流にこだわるのか。ここはタイなんだからタイ式でやろうと積極的に参加し出してくれ、やり方を変えてしまつた。見に行つた土地が、て、やつと焼けるようになります。

ところがです。炭が少しでき始め、まずサンプルを出荷して使ってもらおうとしていたところ、土地のオーナーの方から、もう製品ができるのなら収益がでているはずだ。土地の使用料、収益の分け前をよこせと申しこれがありました。

そのあたりのところはタイ人同士での話し合いに任せていたのですが、結局、土地を勝つて放題に使つてとか、煙で近所から文句が出るとか、スタッフの態度が悪い、果てにはオーナーが大切にして食べようとしていたマンゴーをスタッフが盗つて食べた、等々クレームと嫌がらせを受け、1年でその場所を追い出されてしまいました。

土地を貸してもらう交渉をしたのは、オーナーから管理を任証する人物で、オーナーには良いことだけを伝えていたようです。土地の貸借契約も結べず、結果一方的な追い出し宣言を受けました。

た工場をあきらめざるを得なかつたということですか？

はい。それから再度、工場の土地探しです。まあいろいろありました。見に行つた土地が、

実際はほとんど池なのにその横の場所だと紹介されたり、田園

の真ん中に土を入れるから使え

ると言われたり、村の有力者と

称する人物が 村の共有地を紹

介されたり。

結果、周りを田圃で囲まれた

出島のようなどころに落ち着きました。場所はナコンチャイシ

ーという所です。仏塔で有名な

ナコンパトムの近くで、マヒド

ン大学の後方20キロの所です。

雑木林のような所で、中に池があるようなのですが境界も判ら

ず、半分壊れた宿舎跡の建物が

2棟ありましたね。そこから木

を切り、池を掘りなおし建物を

修復し窓を掘りました。

再度レイアウトから図面を引

きました。前回の反省を込め、

賃貸契約を結び使用許可を申請

し、周囲の方々にも挨拶に行

出を控えました。

土地が決まり火が入るまで

約6ヶ月、あつという間の期間でした。

売れない理由

Q 新工場ではいかがでしたか？

その後はわりと順調に生産できていたのですが、次なる問題

は、売れない！！

当初、絶対良い物だから成果さえ見せれば採用してくれる：

：というのは、日本的な考えでした。タイの農家の考え方は、

作物の出来は、お天道様次第。

金が儲かるか否かは政府次第（買入価格設定）。今回よかつたのは、きっと天候がよかつたのだろう。わざわざ金を出してまで土をよくして収量を上げるなんて……くれたからやつてみたけれど、自分で面倒なことはやりたくない。

随分あちこちでテストしましたが、結局、買つてくれる所はありませんでした。

Q 出来はお天道様次第、金は政府次第ですか…。次なる販路拡大策は？

それならもつと付加価値のある所で、と有機農法の所に売り込みに行きました。チエンマイ、チエンライ方面には日系の方を含め、何箇所も有機農法を実践している所がありました。

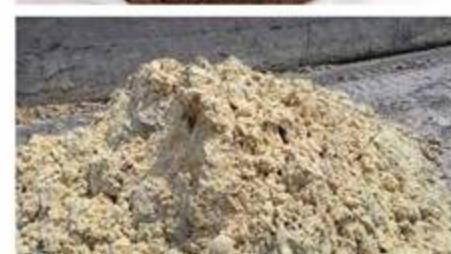
ここでも大きな壁が見つかりました。日系企業では、オーガニック認証を取つて栽培している所がほとんどで、そこに粉炭を使うことはリスクがあると言っています。認証を取つた粉炭



ヤシの実を日常的に消費するタイでは、実の中果皮であるヤシ殻はふんだんにある廃棄物。それを粉炭にして土壤を改良



ヤシ殻をよく乾燥させてから焼いて炭にして、粉碎し、ふるいにかけて粒子をそろえる



運河に繁るホティアオイ、コーヒーのだし殻、キャッサバの澱粉質(タピオカ)除去後のカスも粉炭の材料になる

であれば使ってみてもいいが：と。担当者の判断でテストしていただいた企業もありました。が、社長から勝手なことをするなと怒られてしまつたそうです。しかし個人事業主で炭を使つてもらえる所も徐々にですが増え、現在ハーモニーライフオートガニック農園（サステイナ）、岡田苺園、黒田農場などで定期的に使つていただけるようにはなつてきました。

また、予想もしていなかつた所からもオーダーが入つてきました。糠酵素風呂に入れる粉炭に、当社の粉炭があつているとことです。体に直接触れたため、柔らかい粉炭が良いとのことでした。予想もしなかつた場所で使つていただけることは嬉しいですね。

Q 粉炭は一般家庭でも使えますか？

家庭の場合、次の利用方法があります。

①鉢植えの観葉植物に、植え込みの時に混ぜると、生育がよくなります。

②通気性のある袋に入れて冷蔵庫に入れておくと脱臭剤になります。

③ペット（犬、猫、昆虫等）の尿、便の防臭用として底に撒いてください。粉が飛び散ります

今はオーガニック認証の取得を目指し準備中です。有機農法には絶対に必要な材料だと思っています。これも思つてゐます。これも思つてゐます。これも思つてゐます。でも、今更この年になつてやつたことをやれる、人には迷惑をかけずに（妻と上記パートナーには頭が上がりませんが）過ごせることは最高だと思つてやつていてます。

タイの人が後を継いでくれるようになるまで辞められないですよね。

ので、上に力バーをして使用のこと。碎く前の椰子ガラ炭具剤として使えます。碎く前での椰子ガラ炭具も置いてください。粉炭はそのまま容器にいれ部屋の隅っこでも置いてください。粉炭はその字の通り粉です。それも非常に微細な物も混ざっていますので、散ると部屋が汚れます。土に混ぜないようにして使つてください。当家では籠に入れて室内の匂い消しに使つています。

Q これから取り組みについてお聞かせください。

【問合せ先】喜多村：yosittakaa2345@yahoo.co.jp

の室内に置いてある紙の器にいれて室内に置いた炭ポット

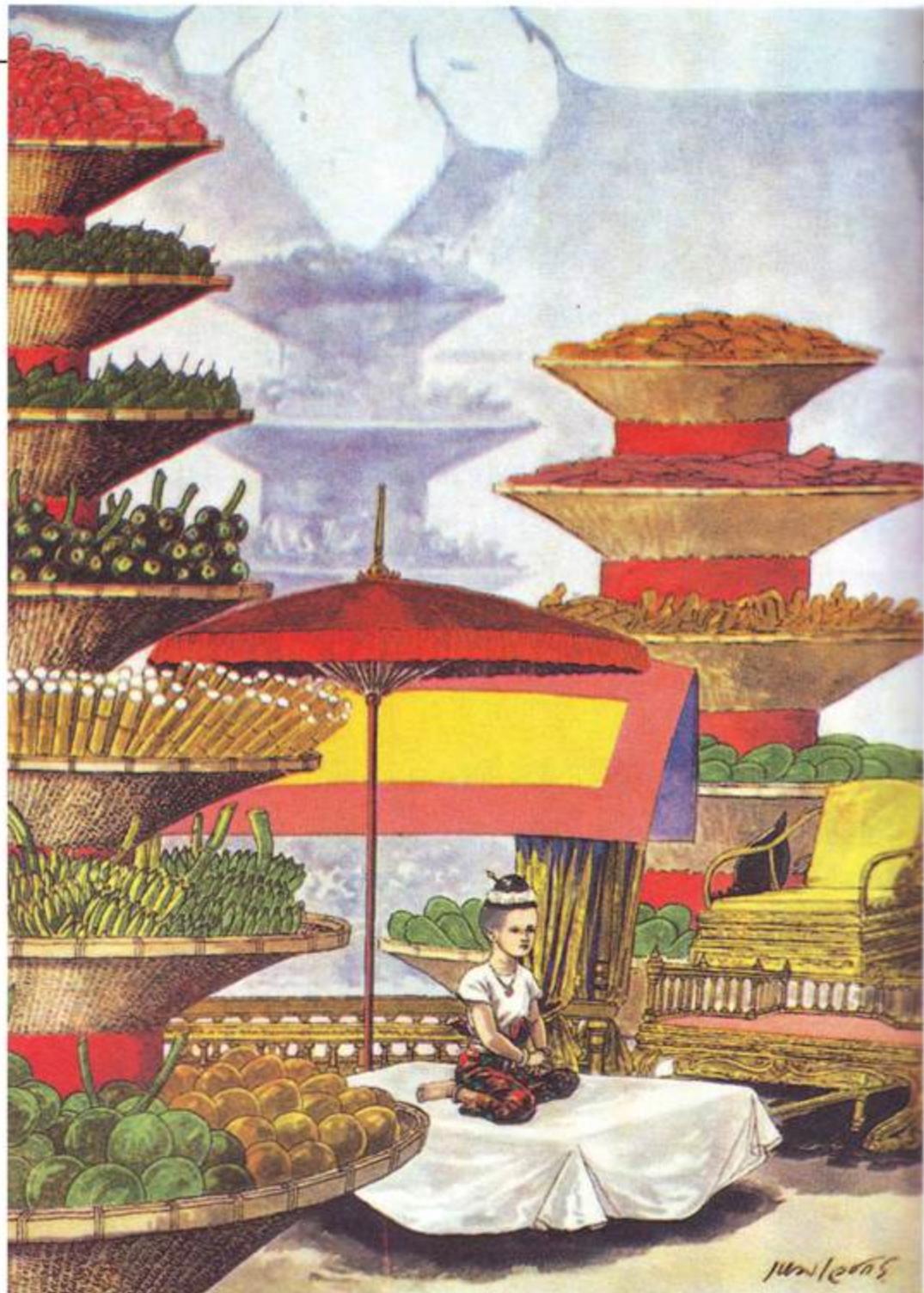




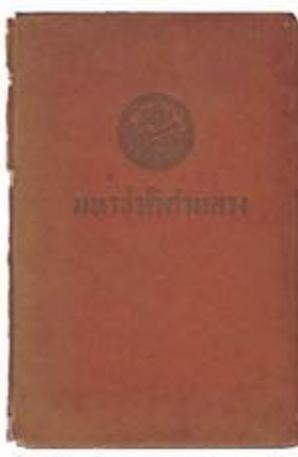
連載
57

トライローカナート王の大本生経（2）

レヌカー・M



【図1】バンコク王朝年代記の大本生経説経の場面 プルアン・ナ・ナコーン著『タイ文学史』
タイ・ワタナ・パニット社 1974より



【写真1】マハーチャート
(大本生) カム・ルアン版

トライローカナート王の文化業績として、アユタヤー王朝年代記プラストーント版は、マハーチャート（大本生）カム・ルアン版の編纂を記している。

その説明として、前号ではまず仏教世界における本生とは何かを、輪廻と菩薩という思想の発展にそつて話した。仏教でも宗派、教団により、流傳のルートにより、伝承された本生話に違いがあることにも触れた。本生話が寺院内を莊嚴する壁画として描かれたり、陶板、銅版して細工され、説教僧による「絵解き」に使われた形跡が、古代、近世の仏教寺院や仏塔の

遺跡に残っていることも説明した。

本生話は、多々なる仏教教団の信者たちに、仏伝エピソードについて、親しまれた。現在の仏教アジアでタイをはじめてとしてラオス、カンボジアなどいわゆる南伝仏教の国々では、パーリ語で記されたトライピタカ（南伝大藏經）が聖典とされるが、本生話ジャータカは、その内の経蔵に含まれている。

● 大本生マハーチャート

全部で547話のジャータカは韻文で記され、偈の数で22組に組み分けられている。最後の547番目の話は聖なる偈の数が最も多く、それだけ尊く有難い。またこの話の主人公ヴェッサンドラ王子なる菩薩は、修行を全うし、（特にこの生においては南伝仏教の要とする喜捨の徳を積んだ）次の生では、シッタルダ王子として生を受けることを約された。したがって、この生涯は仏陀の数ある本生ハナシ（ジャータカ）の中でも、マハーチャート（偉大なる生）と呼ばれ、尊ばれている。

「王宮内で行われるテート・マハーチャート説経の各章毎の供物は王族や後室間で競われた。虎さまと呼ばれたプラ・サノム・エク（第一後室）クン・ヴェーンの供物籠は白装束に蓄を結った稚児一人を僧に無条件で施したもので、見事な大布施であつたが、何年のことであつか、探せない。」

絵は著名な挿絵画家ヘム・ヴェチヤコーンによるもの。1974年から出版されたブルアン・ナ・ナコーン著『タイ文学史』から転載させていただいた。

大本生経は、一千の偈、13章から構成される。

まず、現在世物語として、釈尊がいかなる因縁により過去世の話を語るかの由来が語られる。

釈尊がカピラバストゥ近くのニグローダに止住されていた際には蓮雨の奇跡とともに語られた話である。シヤカ族の王族たちは同じ出であるが、若い釈尊に、

卷頭の絵はバンコク王朝年代記のラーマ1世時代の最後を飾る大本生經説経の場面を描いたものである。

チャオプラヤー・ティパゴラウォン筆の王朝年代記は記している。

● マハーチャートの構成

第1章 カン・トサポン（10の願い）

下界でサンチャヤ王の妃となつた美女プサティーは、十月満ちて、男子を産む。と、その同

ードクがタイ仏教徒の間でよく知られているのは、一つにはテート・マハーチャート（大本生經説経）が年中行事として、古くから、多くの寺で営まれているからである。

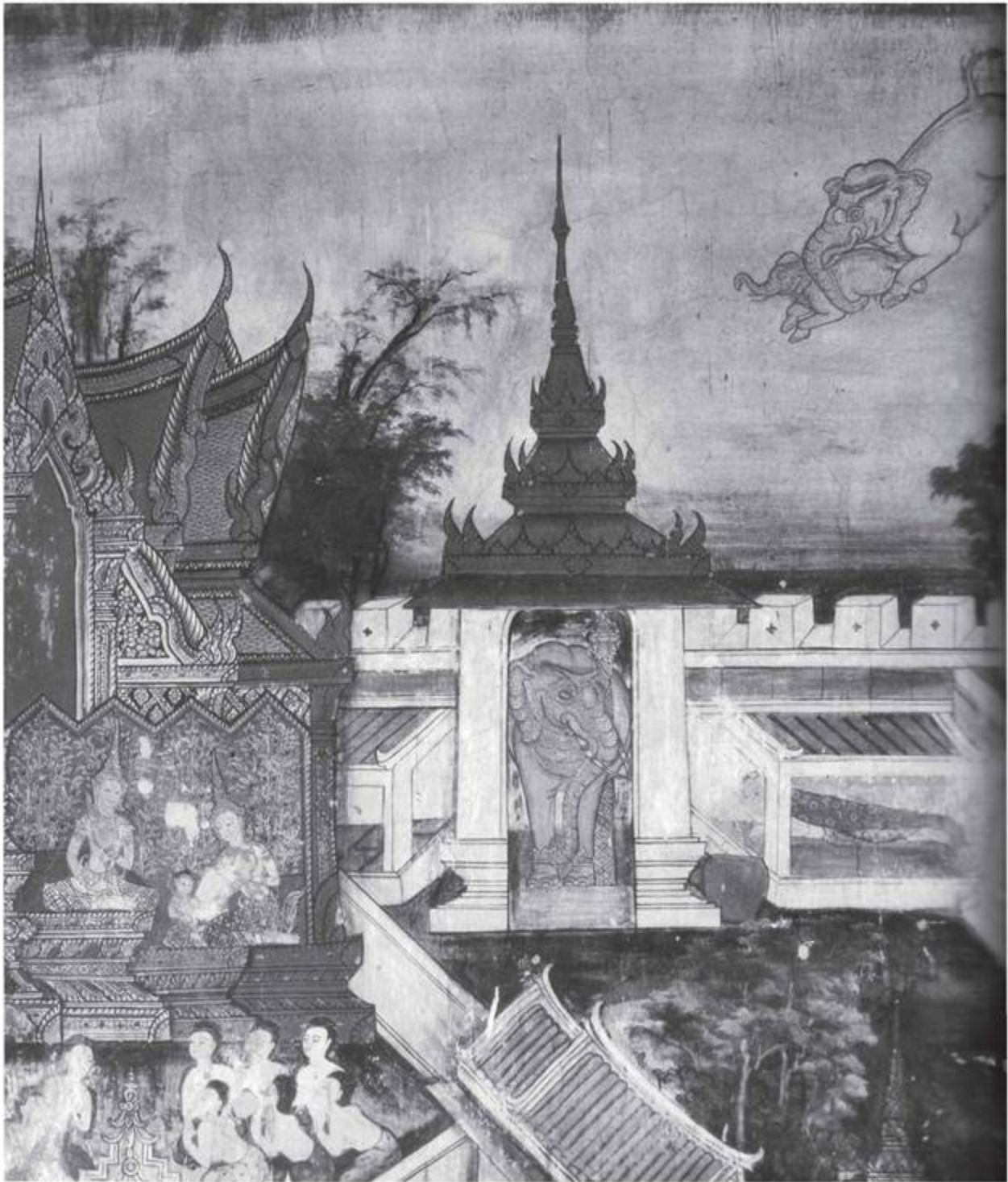
大本生マハーチャートは、パンコク王の命でヴィエンチャンを攻略したカサントスク将軍は、美女ヴェーンを連れ帰った。将軍がラタナコーシン朝の王として即位すると、彼女はパンコク宮廷の行事を取り仕切つたといわれる。

稚児の供物とは、彼女はカン・クマーン（愛児の章）の供物を請け負つたのであつたろうか。それを探る前に、各章の説明が必要であろう。

稚児の供物とは、彼女はカン・クマーン（愛児の章）の供物を請け負つたのであつたろうか。それを探る前に、各章の説明が必要であろう。

各章の名称と概略を述べる。挿絵として、説経堂内の壁画あるいは、説経日に説経堂に掲げられる幡絵の写真を4枚つけた。

大雲が巻き起こり、蓮雨が降つた。赤銅色の雨に濡れたい者は濡れるが、濡れたくない者の身体には一滴も落ちなかつた。蓮雨である。驚く一族に釈尊は、前世においても蓮雨が降つたことがあつたとして、以下の話を語られた。



【図2】スワンナラーム寺壁画

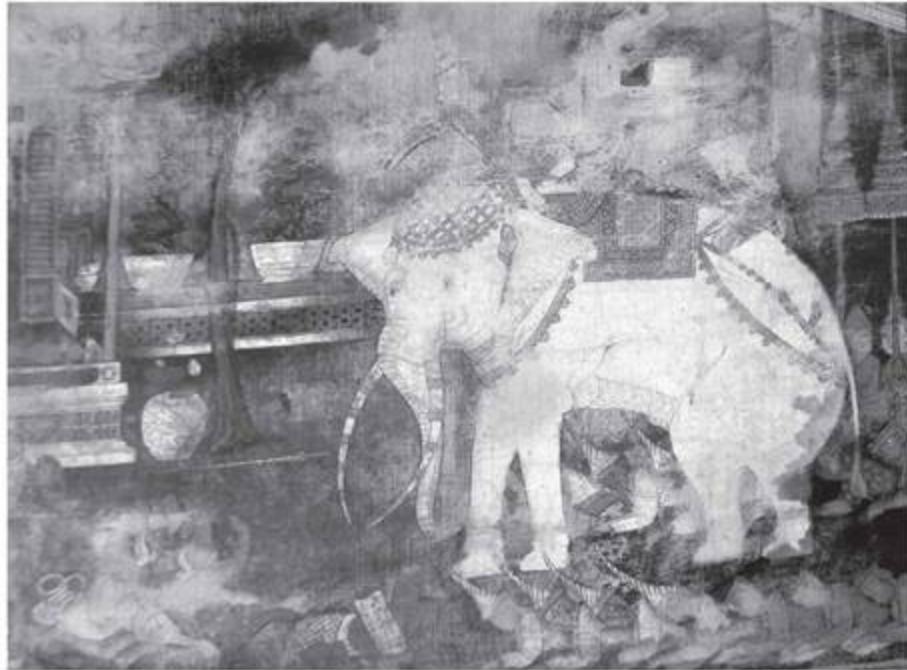
日にメスの白象が飛んできて、王宮の象舎に小象を置いた（図2 スワンナラーム寺布薩堂壁画 ラーマ3世時代 バンコク・ノーアイ トンブリー）。

長じて、象は雨をもたらす吉兆な存在となり、国は栄えた。健やかに育ったヴェッサンドラ王子も次代の王として民意を得、妃マツシーとの間に2人の王子王女に恵まれ、幸せに過ごしていた。

この恵みの白象を隣国カリinggaのバラモン僧たちに請われて、ヴェッサンドラ王子は施してしまった（図3 白象の上でこの象を施すと誓いの水を大地に注ぐヴェッサンドラ王子。カリinggaから来たバラモンたちが手を合わせている。説教堂に掛けられる幡絵 バンコク時代 19世紀 レヌカー所蔵）。

国と宝とした恵みの象を隣国に与えてしまつた王子に怒つた民は王子を都から追放しろと王に迫る。民意をうけて、父王はヴェッサンドラ王子を都から追放し、森に住まわせることにした。妃マツシーと2人の王子王

は庵を建ててやる。用意された仙人の衣に着替えたヴェッサンドラ王子の姿を見て泣きながら、妻と子も苦行者の衣をつける。以来、7ヶ月、マッシーは夫と子たちを自分の採ってきた木の実で養つてすごしたのであった。



【図3】白象の絵



【図4】歩くヴェッサンドラ王子と妃マッシー

第5章カン・チューチョク（チューチョクの章）

隣国カリンガのバラモン村にチューチョクというバラモンがいた。乞食をして貯めた金をあるバラモンに預けて旅に出て、戻つてみたら、そのバラモンは預けた金を使つてしまい、返せない。それで娘をチューチョクに与えた。娘アミタパーは年寄りのチューチョクに良く仕えたが、それが近隣の夫たちの賞賛と羨望、その妻たちの怒りをかい、アミタパーは村の水汲み場で集団のいじめにあう。

もう水は汲みに行かないから、奴婢をやどつてと頼むアミタパーのために、チューチョクはヴェッサンドラ王子から王子と王女をもらいうけようと、ウォンコット山を目指す。チュー

第3章ターナ・カン（布施の章）

都に布施堂を設け、三日三晩ですべての財産奴隸奴婢を布施した後、ヴェッサンドラ王子は妃マッシーと2人の王子王女を伴い、馬車に乗って都を出る。

しかし、その馬車も馬もまた、道中に現われたバラモンたちに乞われるままに布施し、4人は徒歩で森へと、ウォンコット山へと向かつた（図4 児を抱え、徒歩で森を目指すヴェッサンドラ王子と妃マッシー 帆絵 18世紀後半か レヌカー所蔵）。

第4章カン・ワナパー（森棲の章）

ヴェッサンドラ王子一行は王子の叔父が王として治める国を通過して、一族の同情を得て、道案内を得、ウォンコット山へ向かう。山中の蓮池のあたりに休む一行を見守り、インドラ神

チヨクは途中で森の狩人に会い、殺されそうになるが、父王からヴェッサンドラ王子への使者であると偽り、狩人をだまして案内させる。(図5) 狩人に連れ、犬に噛まれて木に登るチヨク この幡絵は、画家タワーン・ダチャニーによれば、バンコク時代トンブリー派の特長を持つ貴重な絵であるとのこと チヨクは悪者の18の特徴を明瞭に備えている。

レヌカー所蔵)

第6章 カン・チュンラボン

(小森林の章)

チヨクのたどる森の道の描写。

第7章 カン・マハーポン

(大森林の章)

さらに深く入った森林の樹木鳥 動物の描写。

第8章 カン・クマーン

(愛児の章)

チヨクはヴェッサンドラ王子の棲む庵近くまでたどりついた。その夜、マツシーは恐ろしい夢を見る。双眼をえぐり

とられる夢にヴェッサンドラ王子は乞人が現われ、望みの布施波羅蜜が全うされると知り、内心歓喜する。しかし、王子はそれを語らずに、マツシーをなだめ、果物採取に行かせること チヨクは悪者の18の特徴を明瞭に備えている。

泣く泣く庵を後にする。

菩薩ヴァンダラ王子はチユ

ーイ月の間、抱えていた重荷をおろすように、水を求める酒飲みのように、菩薩は乞人を待つ。子たちはその下で遊んでいる。

子を施せと要求するチヨク

ヨクに菩薩は応え、子を布施しようとするが、子たちは蓮池に逃げる。しかし、父の願いを聞いて、子たちはしぶしぶと出てくる。ヴェッサンドラ王子は息子チャーリーに「自由になりたい」というときの2人の身請け金の額」を知らせてから、チヨクを呼び、誓いの水を注いで、2人を彼に与える。大地は

振動して、この挙を讀めた。

チヨクは2人を縛り、むちで追いたて、連れていく。あまりの酷い仕打ちに耐えかねて、逃げ帰る2人は、また追立てられる。

ヴェッサンドラ王子と2人の子の悲嘆の描写。母を慕う2人の声が野山に響く。

第9章 カン・マツシー

(マツシーの章)

胸騒ぎするマツシーは木の実の採集から庵へ早く戻ろうとする。

ヴェッサンドラ王子の壯拳を助けようと、神々は計らつて、3匹の獅子と虎と豹になり、マツシーのいく手をばばむ。

やつと庵に戻ったマツシーは、子たちを探さが、いない。

日が暮れて、月の光で子たちを探すマツシー。夫ヴェッサンドラ王子は妻の問い合わせない。

大地は振動した。マツシーも決意を見せて、同意した。

インドラ神は正体を現し、マ

ツシーは夫のもとにあるべしと戻してから、菩薩の願いを聞いた。

子たちをチヨクの召使として布施したと告げる。

子の布施に大地が振動したと

告げる夫に、マツシーはその壯拳を賛嘆した。まことに高貴なマツシーであった。

第10章 カン・サカバブ

(インドラ神の章)

ヴェッサンドラ王子と妃マツシーは了解しあうが、インドラ神は考える。高貴なマツシーを乞う者がやつてきたら、ヴェッサンドラ王子は施すであろう。

それでは王子を支える者はいない。地中で一人になってしまふことを憂わず、菩薩は即座に応じて、水を汲み、バラモンの手に落として、自分の妻を施したのであった。

インドラ神はバラモンに身をやつし、ヴェッサンドラ王子の庵を訪れ、マツシーを乞う。森

の中で一人になってしまふことを憂わず、菩薩は即座に応じて、水を汲み、バラモンの手に落として、自分の妻を施したのであった。

大地は振動した。マツシーも決意を見せて、同意した。

インドラ神は正体を現し、マ

ツシーは夫のもとにあるべしと戻してから、菩薩の願いを聞いた。

第11章 カン・マハーラージ

(大王の章)



【図5】狩人と犬に追われるチューチョク

一行は1月の間、ウォンコット山にとどまつた。沿道での祝いの支度が整つたところで、華々しい行列を仕立てて、一行は2ヶ月かけて都へ戻つた。都では、王子は大布施を行い、動物や奴婢を解き放した。

結分としては、今生の昔と今とを結びつけて、釈尊が語ったのは、以下である。その時のチューーチョクは後のデーヴアダッタ、サンチャイ王は後のスドータナ王、王妃プサディーはマヤ夫人、マッキーはラーフラの母、ヴェッサンドラ王子は他ならぬ釈尊であったと述べられた。

ヴェッサンドラ王子と妃マッキーが心安らかに庵で暮らす一方、チューチョクは子たちを連れ家路を急いでいたが、道に迷い、ヴェッサンドラ王子の父が統べる都に着いてしまつた。孫2人をみつけて、王はチュ

ーチョクを呼ぶ。ヴェッサンドラ王子から布施されたとかたるチューチョクの傍らから、チャーリー王子が2人をあがなうための身代金の額を告げる。祖父王の支払いにより、2人の孫は自由の身となる。チュ

ーチョクは大金を手にして、喜ぶが、食べ過ぎて死んでしまい、縁者も近くにいず、支払った身代金は王のもとに戻る。王はヴェッサンドラ王子を迎えて、ウォンコット山に向かう。

ヴェッサンドラ王子と妻マッキーは、息子チャーリーと娘カンハーハー、父サンチャイ、母プサティーと再会する。大地は振動し、6人は再会の喜びに気絶する。インドラ神は蓮雨を降らし、その雨に濡れて、6人の王族は息をふき返した。

第13章ナコン・カン (都へ戻るの章)

泰国日本人会の前身 日本人俱楽部の創設

早稻田大学アジア太平洋研究科教授

村嶋 英治

日本人が互助親睦情報交換等を目的として、バンコクで結成した団体の嚆矢は、1894年8月26日にサーラーデーンの暁鐘庵で結成された日暹協会である。その中心メンバーは、石橋禹三郎（当時の日本人社会の親分格、1869-1898）、山本安太郎（シャム文部省日本語通訳、1872-?）、山崎喜八郎（桜木商店、1867-1912）らであった。当時岩本千綱は、第1次移民集めに日本に帰っていたが、もし在タイであつたはずである。日暹協会の構成員は、壯士風の者が多かつた。1895年12月に石橋が宮崎滔天とともに帰国して在タイリーダーを失い、また、岩本が1896年9月に東京で組織しようとした、日本側の日暹協会設立も失敗して、日暹協会は雲散霧消した。

日暹協会から2年を経た18

96年8月ごろには、堅実な商人を中心として日本人会が結成された。その中心人物は、上記の石橋・岩本・山本らから冷遇排斥された阿川太良（國南商会、1865-1900）であった。下の引用のように阿川の不在時には、磯長海洲（写真館、1860-1925）が中心となつた。その外の主要メンバーは、大山周藏（大山兼吉の兄、雑貨商、1854-?）、佐々木寿太郎（建築師、1890年来タイ、1910年死亡）らであつた。

日本人会の組織 従来盤谷に於ては在留の日本人相会して日暹協会なるものを組織し一切日本人の対暹羅的動作及諸外国に対する云為「うんい、言論と行為」に就て協商たるの便宜を設け居たれども年変り星移ると共に種々の事情弊害を醸生（ママ）して兄弟鬭闘「げきしきょう」相難反して殆んど其名あつた。

つて実なきの有様となり在留日本人の一一致協力を欠く而已か反目嫉視して往々醜体を外人に暴露するの不面目を呈すること数からざる次第と成行きたれば今度有力なる日本人更に相会合して新に日本人会なるものを組織したり其趣意は在留日本人の交誼を厚ふし日本人たるの名譽と其実力を増進して暹羅事業を大成するにあり故に若し日本人にして此目的に乖反する行為あるものは飽まで之を排斥するは論を待たず新たに來りたる日本人に対しては充分の便宜方法を与へて其希望を遂げしめんことに力を致すは本会の重なる責務なりとする処なり会長には阿川太郎（正しくは太良）氏當選したれども同氏は今度商用を帶びて帰国するの都合となりたるを以て磯永（正しくは磯長）海洲氏其後を承けて会長の任を帯びたり現今我が公使館とか領事館とか云ふ国民の思想を代表し及び同国人の協同を計り新來の士を導くの機関なき國柄に於ては如斯もの甚だ必要を感じる處なり（南蛮鉄「宮崎滔天」「盤谷雜話（一）」）。

1906年8月に三井物産バーンコク出張所初代首席として檀野禮助（1875-1940）が着任した。彼の詳細な日記帳号）。
1897年1月4日にバンコクに到着した、參謀次長川上操六中將一行を迎えて、1897年1月10日夜、大山周藏宅で日本人会が歓迎会を開催し、都合20名近くが参加した（村田保定編『明石大將越南日記』、日光書院、1944年、118頁）。
1900年6月18日午前に日本佛教界の代表からなる仏骨奉迎団は、バンコクの日本人墓地に参拝した（岩本千綱『仏骨奉迎始末』1900年7月21日発行、60頁）。その所在地は記されていないが、この時点ではバンコクに「日本人墓地」が存在したことが判る。

三井物産檀野禮助氏の着任
1906年8月に三井物産バーンコク出張所初代首席として檀野禮助（1875-1940）が着任した。彼の詳細な日記帳



1907年7月、日本人会の松方正作新公使歓迎会
（『檀野禮助伝』口絵より）



新嘉坡文店時代

1906年8月に着任した三井物産バンコク
出張所初代首席檀野禮助氏
（『檀野禮助伝』口絵より）

を基にして戦前に編集された『檀野禮助伝』（1945年刊）には、檀野が日本人会会长を務めたことが記されている。例えば、檀野氏は民間外交家として活動し、田邊代理公使と連絡を保つて、日遅間の親善は無論、通商拡充を研究して事情通となつた（269-270頁）。久しく欠員中であつた暹羅駐箚公使に松方正作氏が任命、七月十日「1907年7月10日」盤谷に着任せられた。日本人会では新公使歓迎のため檀野会長は、盛んな歓迎会を開催し、その席上歓迎辞を述べ、民団発展につき気焰

る。しかし、幸運にも日本人倶楽部創設の経緯と運営方法の概要が判明する記録を、本年3月2日に京都宇治の黄檗宗大本山萬福寺文華殿を訪ねて入手できた。1905年8月～12年8月（但し、1907年3月から1年間は帰国）の間、在タイし、日本人倶楽部の書記も務めた渢道元師（1877～1966、最後は黄檗宗の管長）が残した、後述の「暹羅國行脚物語」である。

同時に檀野伝には、日本人倶楽部という表現もある。倶楽部は日本人会の建物施設を指しているようである。もし、檀野の日記帳類が今日も残つていれば、バンコクの日本人会と日本人倶楽部の関係、両者の起源を詳しく知ることができる筈である。本年3月26日に檀野の孫に当たる檀野統一氏に質問のメールを送つたところ、直ちにお返事を頂いたが、戦災で全て失われたようで何も残つていないとのことであった。

をあげ、尔後、公使、民団一体となって活動した（283頁）、など（本誌写真参照）と。

バンコクの日本人が、自前の施設である、日本人俱楽部（集会、娯楽、宿泊等の施設）を Soi Captain Bush (現 Soi 30 Charoen Krung Rd.) に持つことができたのは、1906年に、檀野禮助が日本人会長に就任した頃である。溪師によれば、三件の大口寄付が、日本人俱楽部の発足を可能にした。即ち、稻垣満次郎初代公使が1905年12月の帰国際に寄付した五百バーツが日本人俱楽部創設の原資となり、続く神戸の川崎造船所の千バーツと三井物産の千バーツの寄付で、施設が充実した。

明治大正期に川崎造船所がシャム政府の注文で建造した船は、1905年5月に進水したシイタマラ（264トンの快遊船）に始まり、1908年4月に駆逐艦スワーターヨンチヨン（375トン）及び3隻の二等水雷艇1、2、3号（各89トン）が進水、1912年2月に駆逐艦スマカムロンシント（370

トン）が進水、1913年3月に二等水雷艇4号（89トン）が進水、1918年7月にはマハチャツクリー（2400トンの快遊船）が進水している（阿部市助編著『川崎造船所四十年史』川崎造船所、神戸市、1936年11月5日発行、298-299頁）。

三井物産と川崎造船所とは、タイに進出した最初の大手日本企業であり、両者の大口寄付によって、始めて日本人会は恒産を手にしたのである。

さて、溪道元師は、京都府宮津の生まれ、大阪の従兄（軍医）を頼つて14歳の時に故郷を出奔した。この従兄は黄檗宗の寺（九島院）に下宿していたが、その寺の住職は溪道元を見込んで跡継ぎになるよう頼んだ。住職が学費を出して教育を受けさせることを条件に、溪はこれに応じた。溪は大阪の中学に中途編入されたが、住職が2年後に死亡。溪は東京に出て哲学館（後の東洋大学）に学ぶことにしたが、後を継いだ僧侶は約束の学費を送つてこなかつた。中退した溪は、昼間は寺の手伝い、夜

は英語の夜学に3年間通つた。溪はいずれ欧洲まで行くつもりで、1902年春に僧侶としてまず台湾に渡つた（溪道元『南亞旅行記』1962年刊、1-4頁）。

3年後の1905年半ば台湾を発ち、清国を巡遊したのち香港の宿（東洋館）で出会つた商人立木幸三郎（1873年岐阜県生）に同行して同年8月過ぎに来タイ。稻垣公使の紹介で僧侶としてワット・サケートに住み込み、磯長海洲の写真館で写真の技術を身につけた。1907年3月に、日本に一時帰国。

日本では、自分の撮影したバンコクの写真を雑誌に持ち込んだ。『太陽』第13巻8号（1907年6月1日号）の口絵には、溪道元君寄贈として、暹羅國在留日本人青年会発会式、在暹羅盤谷府日本公使館、暹羅國華族女学校（2枚）と題した4枚の写真が掲載されている。

これからバンコクで日本人青年会が発足したのは、1906年から1907年初めであると思われ、日本人会（俱楽部）の發足と軌を一にしたものと思われる。

溪道元「暹羅國行脚物語」
暹羅國に於ける我同胞の發展

れる。

1年後の1908年2月に、溪はタイに戻り、1912年8月に印度巡礼に発つまで4年半に亘つて在タイした。溪は1908年10月にはワット・サケーとの住職に同行してピマーリーを、1909年1月にはサワンカローク、スコータイの各遺蹟を訪問した（溪懐堂「道元」「暹羅國北部の宗教状態」、「禪宗」170号、1909年5月号）。彼はこれらの遺蹟を訪ねた最初に来タイ。稻垣公使の紹介で僧侶としてワット・サケートに住み込み、磯長海洲の写真館で写真の技術を身につけた。1907年3月に、日本に一時帰国。

日本では、自分の撮影したバンコクの写真を雑誌に持ち込んだ。『太陽』第13巻8号（1907年6月1日号）の口絵には、溪道元君寄贈として、暹羅國在留日本人青年会発会式、在暹羅盤谷府日本公使館、暹羅國華族女学校（2枚）と題した4枚の写真が掲載されている。下記の引用では、読み易いように句読点を加えたが、送り仮名も現代文とは懸けて離れている。下記の引用では、この文章には、句読点が全くなく、送り仮名も現代文とは懸けて離れている。下記の引用では、読み易いように句読点を加えたが、送り仮名はそのままとした。



暹羅國と申ても重なる我同胞の在留地は首府盤谷府であるが、何時頃から日本人が同國に居住しかけたかと云ふに、アユチヤ王朝時代に山田長政が渡航して此地に英名を轟かしたこと云ふことは歴史上聞て居る処であるが、英國人にして東洋学者なるサトウ氏 Ernest M. Satow (晉て暹羅國を始め日本支那にも英國公使として駐留せしことありし) の研究によれば、西暦一五六九年即ち大正三年より三四五年前にはアユチヤ在留の日本人約五百人暹羅國の総領攻撃軍に参加し勇壮絶倫の働きをなし大に日本人の武勇を示したりとしてある。併し其後暫くの間は日本人の足跡と云ふものは絶へてさつたのである。徳川幕府時代の鎮港主義は一時國民の活氣即ち海外飛躍の大活気は殆んど消滅せんとまでしたのであるが、維新の革新によつて始めて祖先時代の大思想を回復し、而して二十七八年及び三十七八年の二大戦争になつて來たのである。申す迄もなく、我故郷を高ましむるには必ずしも郷里に住して汲々たらねばならぬことはない。寧ろ海外に飛出して

世界的活動を試みるのも又一大快事である。我同胞諸氏が同國に航して再び居住し始めたのは明治二十年頃のことであるが、多少土人並に白人などに知られる様になつたのは日清戦争當時からである。無論其時代に暹羅全權公使「正しくは弁理公使」は我公使館も領事館も出来てなかつたのである。我公使館の設置されたのは明治三十年三月三十一日始めて暹羅全權公使「正しくは弁理公使」として稻垣満次郎氏が任命されたのである。稻垣満次郎氏は明治三十一年二月に同全權公使であつて三十一年二月に同全權公使「弁理公使」と暹羅外務大臣との間に十六条よりなる口頭修好通商航海条約と云ふものが制定されて居る。其の最後の所に第十六条本条約は之を批准し其批准は可成速に盤谷に於て交換すべし、右証拠として両国全權委員は之に記名調印するものなり、明治三十一年二月二十五日即ちラタナコーシンドルソツク第百十六年西暦十八百九十八年二月二十五日在盤谷府に於て本書六通を作る。

稻垣満次郎 印

テヴァアウラングセヴァアロプラ
カ一印

時農學士) 其他養蚕技手等の招聘となり、華族女学校へは安井哲子・女史其他手芸教師二名の招聘となり、文部省へは大山画伯聘せらる (之は稻垣公使着任以前のことである)、陸軍よりは三井へ小銃數千挺の注文あり、海軍省よりは川崎造船所へ軍艦注文せらるる等、何れも稻垣公使時代の出来事であつて、同公使在任当時は在留同胞間に多少の批難もあつた様であるが、同公使が本邦人の為に尽力せられたことは覆ふべからざる事実である。併し只今では地圖局の方に田山丸一君、漆工部の方に鶴原善三郎君居られるのみで他は何れも満期解職となつて前後帰朝せられたのである。雜貨店は現今七八軒出来て居るが、何れも相当に売れつつある。其内最も大きな店は池崎商店、大山商店、山口商店の三軒である。医者は日清戰役當時渡航せられ十数年間あらゆる困難と戰ひ、遂に日本医院てふ病院を設立して現今在留同胞中の牛耳を探られつつある三谷足平氏が居られる。其他小澤医院 (小澤正氏) も開業以来僅か五六年間に二三万の財産を造られたと云ふ評判であつたが、昨年の末不幸なる横死を遂げられたと云ふ報知を得た。實に惜むべく傷「いた」ましいことであつた「小澤正は、一八七五年二月山梨県東八代郡美村 (現笛吹市)

生、一九〇六年二月十九日に旅券下付を受け来タイ、一九一三年八月一日に汽船より墜落死亡した」。会社としては三井の新嘉坡支店の出張所がある計りである。写真店は現今開業しつつあるもの三軒ある。此写真術は本邦人長技の一つであつて、大に世に誇るに足るのであるが、惜いかな資本に欠乏して居るので欧人写真師が其店を壮大にして居るものに対しては、到底競争の容易でないことを示して居る。支那人の写真店などは殆んど一町「60間、約109メートル」ごとに一軒若くは二軒位づつあるのであるが、多くは本国人相手である。支那人は現今暹羅国民中約三分の一の位の在留者であるにも拘らず、土人より常に輕蔑されて居る傾向がある。欧人に對しては一般の土人は敬遠主義を採つて居るのであるが、其中間に立つて日本人には至つて親しみ安く且つ尊敬の意味を以て親しみ安く且つ尊敬の意味を以て親しみ安く且つ尊敬の意味を以て常に交際しつつあるのである。依て何商法に關せず日本人の店には通り掛りの土人と雖も必ず一度足を入れると云ふ傾きがある。是等は全く同一人種なる關係と一つは戦捷の給物である。在留同胞中独立生活をなしつつあるものの内で雜貨店に次で最も多いのは此写真師であるが、其内の多くは俄か仕上げの素人である。故に盤谷府に在て開業する程の

の明があつたのである。仏骨奉迎をした為に、一時日本佛教家殊に正使で行かれた大谷光演法主の名は暹羅の田舎地方にまで知られたのであつたが、今日では却て日本佛教家の信仰心薄きことを暹羅人に知らした様なものである。其際此奉迎に関係した各宗派中、色々迷惑を蒙つた宗派もあつた様に聞て居るが、就中妙心寺派の如きは十数万円の基本財産と當時の宰相前田精拙「正しくは誠節」を失つたことは、今尚ほ諸氏の記憶せらるる處であらう。話しが段々脇道に入つた様であるが、何れの国何れの土地を問はず、邦人団体の居留地に必要なものは、第一医者と宗教家と教育家である。其中教育の方は土地に依て不便ながら多少の方法も付くものであるが、医者と宗教家は同邦人に限る。外國語の充分話せる者ならば、只今では何れの土地でも相当人家の有る處には大底「大抵」欧人の医者が入り込んで居るから不便で無い様なものの、海外居住者と雖も十中の八九は語言に不自由な者が多い、斯に於て邦人の医者に非ずんば充分病気の容体を話すこと出来ない。其事が為め往々取り返しの付かぬ失敗を来すことがあるからである。宗教の一曰も欠くべからざることは言ふ迄も無い事であるが、暹羅には常に二百名近くの同胞

人居住し居るにも拘らず、只今ではより各宗寄り集りの信者であるから決して何宗で無けらねばならぬと云ふことは無い。併し余り老年者より壯年者の方がよい。無論品行の正しい者で無くてはいかぬが、多少語学の素要「素養」があれば申分なしである。初めに先づ千円計りの資金が必要である。第一政府に願つて市中の片隅の方に沢山古寺があるから其れを無償で払下げを願つて修繕して、仏間と座敷とを造り境内の一隅に火葬場を造るのである。而して一人の下男を使用して約一ヶ年位は費用を自弁する考へでなければならぬ。其上は在留民一同で維持の立つ様にして呉れる。其維持の方法も予め講じて置たのであつて、現今百四拾円計り共同墓地設置に使用すべき金が出来て居る。何宗を論ぜず宗門の為に一奮發してもらいたいものである。若し右の資金を与へて呉れる篤志家があつたなれば吾輩は今日でも直ちに渡航して一ヶ年未満に屹度相当の布教所を設置して将来維持の方法も付けて見せる確信を有してをある。内地の寺院に燐つて御隠居同様

に古來の習慣的布教に從事して一生を終るのも氣楽ではあるが、男児一度海外に飛出し世界的舞台に上つて鉄腕を振つて見るのも亦愉快ならずや焉。

之で暹羅國行脚物語りは一先づ終りを告げることに致します。(『暗黙眼』(かつろげん)第42号、大正3年6月15日発行、12—18頁)。

溪が専任書記を務めた当時の日本人俱楽部は、名望者5名が監督として共同で運営していたものと思われる。しかし、会長職はあつたようである。1911年2月15日に初めてバンコクに着いた三木栄(1938年度の日本人会会長)は、次のように回想している。

当時日本人会の前身、日本人俱楽部はブッシュレンの今的小谷龜太郎さんの住宅と思われる所にあつた。管理者兼書記は現今黄檗宗大本山万福寺の管長溪道元師で会長は政尾藤吉博士法律顧問であった(『泰國日本人会創立五十周年記念号』1963年9月刊、23頁)。これから檀野禮助日本人会(俱楽部)会長が1909年6月にパンコクを離れた後、政尾藤吉が会長職に就いたものと思

われる。また、溪は三谷足平を「在留同胞中の牛耳」を執るリーダーと述べており、三谷医師の信望が高くなつてゐることも判る。

溪道元師は、邦人子弟のための学校と邦人の共同墓地を兼ね備えた仏教布教所の設立の必要を述べている。実際には、溪師は、当時日本人子弟の教育を担当しており(『暗黙眼』22号、1912年10月、26頁)、溪師自身が邦人用の共同墓地設立を提案し、それに賛同したバンコクの日本人たちは、費用の積立を開始した。溪師がバンコクを発った時点(1912年8月)では、140円(銖換算では約200銖)の積立金ができる。この積立金が更に積み重なつて、1935年7月16日に落成した、ワット・リアップの日本人納骨堂となつたのである。

わられる。また、溪は三谷足平を「在留同胞中の牛耳」を執るリーダーと述べており、三谷医師の信望が高くなつてゐることも判る。



活動報告

【事業部】新堂守・小川大勇師の得度式が行われました

【文化部】タイを知る会 第29回タイを知る会のつどい開催

将棋同好会 日本人会春季将棋大会

【文化部】バンコク混声合唱団 第14回定期演奏会開催報告

【厚生部】2017年度タイ国日本人会『成人の日祝賀会』開催

【事業部】春季彼岸法要

【運動部】ゴルフ部 第27回タイ国元日本留学生協会・日本人会親善ゴルフ大会開催報告

新堂守・小川大勇師の得度式が行われました

日本人納骨堂の第22代目の新堂守・小川大勇師の
タイ比丘（びく）としての新たな門出を祝う「得度式」が執り行わされました。

3月11日（日）、ワット・リ アップ内にある日本人納骨堂にて、水木堂守の後を引き継ぎ第22代目となる新堂守・小川大勇（おがわ・だいゆう）師のタイ比丘（びく）としての新たな門出を祝う「得度式」を執り行いました。

ながら、行列をなし練り歩いた 後、本堂の中で僧伽（そうぎや）への入団が許される莊厳な式へと続きました。沢山の皆様にご参列いただいたおかげで、微笑み溢れる式となりました。

約3年毎に高野山真言宗より留学僧を招聘し、ワット・リアップ内にある日本人納骨堂の堂守をお務めいただいております。本堂の周りを、掛け声をかけます。

タイ比丘出家者として

日本人納骨堂第22代堂守 小川大勇

先日、3月11日にワットリ アップ寺院にてタイ比丘得度式を執り行つていただきました。当日は沢山の方々にお越し頂きました。おがわ・だいゆう師のタイ比丘（びく）としての新たな門出を祝う「得度式」を執り行いました。

タイ比丘として4年間勤めました。志したのは、今年27歳になり30歳までに挑戦したい気持ちと共に、知らない世界を見て学びたいと思ったのがきっかけです。日本で生活しているときは、タイの上座部仏教について考えることなどなく知識もなかつたのですが、二二七戒やお札をしてはいけないなど実際に守れか不安な気持ちでした。

皆様はじめまして、小川大勇（おがわ・だいゆう）と申します。皆様はじめまして、小川大勇（おがわ・だいゆう）と申します。





「出家式」3月11日(日) 本堂に入り仏像に礼拝、パーリ語による問答が行われ、仏門に入ることが許されると黄衣に着替えます

「剃髪式」3月10日(土) 身を清めて白装束に着替えた後、先輩僧が髪、眉をそり落としました。剃髪した髪は蓮の葉に包み川に流すか、大木の根元に置くのが習わしだそうです



「得度式」3月11日(日) 参列者は供物を手に捧げ持ち、本堂の周りを右回りに3周します。3周回った後、出家者はカラフルな紙で包んだ小銭を撒きます。これは俗世からの旅立ちを意味するもので小銭は清らかな出家者からの施しながら、本尊様前まで歩いて式衆に混じる時、スタートラインを一步踏み出したとそんな気持ちになりました。

前任の水木氏の還俗までの間、堂守が2人の生活をさせていただき、タイ比丘としての心得やその姿を教えていただきとても有り難かったです。水木氏が還俗され一人になつたとき改めてタイの僧侶として実感しました。

これから3年間、第22代堂守として精一杯悔いの残らないよう、また先輩方に恥じないよう、自分自身の成長に繋がるよう頑張っていきます。

至らない点も多々あるかと存じますが、何卒宜しくお願ひ致します。

頭の中はパーリ語を間違えないように必死でしたが、白衣から黄衣へ着替え、お堂の端から本尊様前まで歩いて式衆に混じる時、スタートラインを一步踏み出したとそんな気持ちになりました。

気がつけば得度式が終わり、お参りに来られた方々からタンブンをいただき、いつもの癖で頭を下げそうになりつつどうしたらいいのか分からず、振り返つてみたら、もう少し笑顔で挨拶ができるよかつたなど少し後悔しました。

前任の水木氏の還俗までの間、堂守が2人の生活をさせていただき、タイ比丘としての心得やその姿を教えていただきとても有り難かったです。水木氏が還俗され一人になつたとき改めてタイの僧侶として実感しました。

これから3年間、第22代堂守として精一杯悔いの残らないよう、また先輩方に恥じないよう、自分自身の成長に繋がるよう頑張っていきます。

至らない点も多々あるかと存じますが、何卒宜しくお願ひ致します。

第29回タイを知る会のつどい開催

今年創立30周年を迎えるタイを知る会では、協力会員の皆様方を迎えて、「タイを知る会のつどい」を開催しました。



2018年2月23日（金）、日本人会本館にて第29回「タイを知る会のつどい」が総勢28名で開催されました。

つどいの会には日本人会島田会長はじめ、前会長の大橋様、元会長の小野様、OJSAT（タイ王国元日本留学生協会）会長プッサディー様など多くの協力会員の皆様方がご参列くださいました。

島田会長のご挨拶から始まり、お食事をいただきながらの和やかな雰囲気の中で、時間を過ぎることができました。協力会員（日本に留学経験のあるタイ人や在タイ年数の長い元会員の方々等）の皆様方の近況報告をお聞きし、昨年度の活動を報告し「タイを知る会」をお祝いしていただきました。

元留学生の方々は、日本で勉強した時にとってもお世話になつたそのお礼にと、忙しい中私たちの活動にお力添えくださつて、普通は行けない所を見学

させていただいています。

お陰様で今年は創立30周年を迎えます。豊富な知識を持った多くの経験をされた協力会員の皆様方を始め多くの方々に協力していただき、嬉しいとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

創立30周年を記念してサコーン人形劇団によるタイ伝統人形劇公演や記念誌の発行も予定しております。普通では観ることが難しい古くからあるタイの伝統人形劇を、日本語の解説付きで鑑賞し、デモンストレーションでは触ったり動かしたりすることも体験できる素晴らしい公演を予定しています。ぜひ、お越しください。お待ちしています。また、これからもますます楽しく意義のある活動をしていくことと会員一同決意を新たにしました。



日本人会春季将棋大会

将棋同好会では毎年3月と9月に将棋大会を行っています。今回の春季将棋大会は3月4日（日）午後1時より日本人会ファンクションルームにて開催されました。



1962年に発足した将棋同好会は以降途切れることなく活動を続けており、現在は第1・第3（第5）の日曜日午後2時より6時まで、日本人会本館にて自由対局の将棋例会を行っている。

また、今年1月より日本人会別館にて午後2時から5時まで子ども将棋会を開催しており、毎回20名前後の子どもたちが参加して、大人5名ほどと駒落ち同士の対局を楽しんでいる。興味のある方はお気軽にご参加ください。

将棋大会成績

▶一般

Aリーグ.....
優勝 垣口和範五段
2位 塚原正男四段・山田毅久四段
Bリーグ.....
優勝 田中久遠（小6）

2位 中村彰吾二段

3位 山田知裕初段

▶子ども

Aリーグ.....
優勝 櫻井快理（小5）
2位 大西 健（小3）
3位 小森あきと（小2）
Bリーグ.....
優勝 山口弘恭（小1）
2位 小佐々慶太（小1）
3位 川崎智己（幼）

ンクションルームにて開催された。藤井聰太六段の活躍の影響で将棋を指さない人も話題にしており、将棋大会にも子どもたちの参加が多い大会なので、二歩、王手放置などルール違反は即負け、千日手指し直し（先後交代）相入玉は27点制で同点の場合は後手勝ちとして、対局は持ち時間15分秒読み30秒で行われた。今回は一般リーグは二つ。A



リーグは常連の塙口、山田毅久、塙原、柏木、井丸各氏5名、Bリーグは前回リーグ優勝の山田知裕氏と中島、中村各氏に小6の田中久遠君鈴木広一郎君が加わって5名で総当たり戦を戦うことになった。子どもリーグは学年で二つに分けそれぞれ8名の総当たり戦である。

Aリーグは熱戦が続いたが実力に勝る塙口さんが貢献の優勝を勝ち取って、優勝カップが金メダルを獲得した。そして同成績で塙原、山田毅久さんが2位となりました。

Bリーグは田中君が大人との

対戦で頑張り3勝1敗で優勝し、2位は中村さんとなつた。鈴木君も健闘したが惜しくも入賞できなかつた。

子どもリーグは各8名の総当たり戦を行つたが、どちらも伯仲した対局が多く同成績決定戦が数多く行われた。

Aリーグは6勝1敗の大西君と櫻井君の決定戦となり、櫻井君が優勝、金メダルとトロフィーを獲得、大西君は準優勝となり銀メダルを獲得した。そして4勝3敗で藤井啓登君加、茂杏菜ちゃん、小森あきと君が並び決まりました。

今回は大人も進行が早く子どもと一緒に表彰式を行つた。優勝者にカップ、トロフィー（持ち回り）金メダルと賞品、子ども2位に銀メダル、上位入賞者に賞品、全員に参加賞が贈られました。

改めて会場設置、大会運営に

第1ステージは、日本語合唱曲集として「藏王讃歌」「流浪の民」「鷗」「島へ」「きみ歌えよ」「ほらね、」の6曲を空間の練習成果を披露する定期演奏会を原則2月3月に行つていますが、今年は賛助出演団体も含め40名が参加して、2月11日（日）にバンコクアートカルチャーセンターのオーディトリียมにて第14回定期演奏会を開催しました。

モーツアルトの「戴冠ミサ」をメインとした定期演奏会を開催しました。

多くの方々にご来場いただき、盛会のうちに終えることができました。

バンコク混声合唱団は2002年1月に創立された混声合唱団です。年度替わりに帰国となる人が多いことを踏まえ、1年間の練習成果を披露する定期演奏会を原則2月3月に行つていますが、今年は賛助出演団体も含め40名が参加して、2月11日（日）にバンコクアートカルチャーセンターのオーディトリームにて第14回定期演奏会を開催しました。

以下、プログラムに沿つて内容を報告いたします。

オープニングパフォーマンスは児童合唱用「国王賛歌」の初演に続いて「少年の日はいま」「365日の紙飛行機」「大切な」、「ふるさと」の4曲を歌つてくれました。子どもたちの純真な歌声に心が洗われたと、お客さまに好評でした。

第2ステージ（賛助出演団体



【文化部】バンコク混声合唱団

松尾 力

のステージ）では、まずバンコクグリークラブが出発。「グラブソング」「007人生いろいろ」「木蓮の涙」「We will Rock you~We are the Champions」の4曲。バイタクの運転手のコスチューム、楽しい振り付け、かづらをかぶったソリストなど、聴きどころ以上に見どころ満載の内容で魅せてくれました。続いてiZANAGI Choirはオラトリ

となつた。

Bリーグ優勝は6勝1敗の山口君になり、金メダルを獲得しました。5勝2敗で川崎君、小佐々君、松田百花ちゃんが並び決定戦の結果小佐々君が2位銀メダル、3位川崎君、4位百花ちゃんとなつた。

奇数週日曜日の将棋例会（本館自由対局）第2日曜日の子ども将棋会（別館）に興味のある方は、幹事塙原までご連絡いただきたい。

【連絡先】
携帯：081-935-6282
Email：lockfee@yahoo.co.jp

ご協力いただいた方々に御礼申し上げる。

表彰式の後打ち上げ会を8名で行い、ワイン、日本酒、焼酎の差し入れで盛り上がつた。



オ「我々が時代の子」より五つの靈歌を抜粋して披露。このオラトリオはユダヤ迫害暴動をテーマとした現代音楽で、不協和音が大半を占める中、靈歌は一服の清涼剤となっています。1週間後に本番を控える中、少人数ながら完成度の高い演奏でした。

第3ステージはメインのバンコク混声合唱団によるモーツアルトの「戴冠ミサ」全6曲。7月にサイアムシンフォニエッタ、リトニア合唱団と共に演じた後、この演目をバンコク混声合唱団単独で11月のジョイントコンサートで短縮版を、そしてこの日はフルバージョンを演奏するということで3度目の本番。ソロも団員が担当し、しっかりした演奏ができました。

クロージングパフォーマンスは岩渕先生の作詞作曲「帰ろう」、そしてバンコク混声合唱団がアンコールとして「大地讃頌」を歌って最後を締めました。硬軟とりませた飽きないプログラムで、お客様にも楽しんでいただけたものと思います。

最後となりましたが、ご指導いたいた岩渕大輔先生、平塚亜佐美先生、賛助出演いただい

たcodomo chorus、バンコクグリークラブ、iZANAGI Choirの皆さま、運営をお手伝いいただき、皆さま、そしてお越し頂いたお客様に厚く御礼申し上げます。おかげさまで盛会のうちに演奏会を終えることができました。

なお、バンコク混声合唱団では、随時団員を募集しております。活動は土曜日の14時半～17時、場所は日本人会別館です。未経験者でもまったく問題ありませんので、ご興味のある方はぜひ見学にお越しください。ご連絡をお待ちしております。

【連絡先】
Email : info@bkk-konsei.com
Facebookは「バンコク混声合唱団」で検索可



2017年度タイ国日本人会

『成人の日祝賀会』開催

2月28日（水）、日本人会本館において、2017年度『成人の日祝賀会』が開催されました。新成人5名とご家族にご出席いただき、はれやかな祝いの会になりました。



例年、日本の「成人の日」に開催しているこの会を、多くの皆様にお越しいただけるよう昨年から日程を変更し、今年は成人を迎えた5名とそのご家族にご出席いただきました。

祝賀会は、島田会長からの祝辞に始まり、中村厚生部長からの祝辞、そして新成人ご本人より抱負の言葉をいただきました。これから目標などを堂々と発表していただき、私たちもとても気持ちが引き締まる思いでした（と同時に、自分が20歳の頃を思い出してみましたが、果たして皆さんのようにしっかりと記念撮影の後は森本副会長によるご発声で乾杯・会食へ。お



お帰りの際には、ご両親にこつそりとお願いしていたお子様宛ての手紙をお持ち帰りいただいています。ここで祝賀会は終了となります。できることなら手紙を読んだ成人の皆さんの反応も見てみたいのは私だけ



今元伸様



斎藤青司様



杉田ピムオン様



松野亜里奈様



でしょうか：？

これから何年、何十年と経つ
た時、この日のことをご家族や
ご友人と笑顔で語り合えるよう
な素敵な思い出の一部となれる
ことを願っております。

今年も和やかでとても心温ま
る会となりました。祝賀会にご
参加された新成人の皆さんのお
peechをご紹介いたします。

阿部日菜乃

皆さん初めまして。泰日工業
大学日本語・経営学科の3年



阿部日菜乃様



生、阿部日菜乃と申します。今日は私たちをこの会に参加させてください、本当にありがとうございます。最近、周囲から『もう大人ですよ』と言われますが、いまだに実感が沸きません。

20年前、私はタイで生まれ、タイで教育を受けて、両親や周囲の方々から日本の文化や習慣を沢山学ぶことができました。だから、物心がついた頃、既に

私の心中では両国の文化や習慣の違いを感じていました。今でも二つ言葉を使い間違えることが度々あります。幼い頃から日本の多くの文化に興味を持ち、現在の大学で学びながら、色々な日本語大会・日本人交流会など積極的に参加してきました。ただ、少しマイペースで、大学の授業についていくのに苦戦しています。でも、何とか頑張つついに、来月、日本の上場企業に研修に行くことが決まりました。ここまで来れたのも家族と周囲の方々からの支えのお陰だと思います。「お父さん

お母さん、本当にありがとうございました。」「皆さん、ありがとうございました。」

これからは『子供』としてではなく、『大人』としての自觉を持ち、日泰両国の交流がますます発展する様、誇りと責任感を持つて努力し続けていこうと思っています。皆さん、これからもどうぞ、よろしくお願ひいたします。

今元伸

こんにちは、今元伸と申します。このたびはこのような会に参加させていただき、ありがとうございます。

初めてスピーチを考えるにあたって自分の頭を整理できたので、そういう意味でもこの式に感謝したいです。

私は父の仕事の関係により、日本の中学校を卒業後、約5年間タイに滞在していました。タイではインターナショナル校に在籍し、去年6月に無事卒業しました。周りの人たちの手助けなしでは絶対にできなかつたの

でとてもうれしく思います。たくさん

の学びと成長をさせていただきました。今年の4月から鹿児島大学で工学を学び始め

るのですが、とても楽しみにして

います！

これからは、家族に迷惑は掛けても心配を掛けないようにすることが私の抱負です。本当にありがとうございました。

斎藤青司

皆様初めまして、斎藤青司で

さてこの青司という名前、二つ意味合いがあるので、一つは文字通り青を司るという意味、もう一つは英語のSage・賢者です。また、自分は重国籍者なので、実はもう一つタイの名前もあります。これまで、自分は重国籍者

す。去年の9月に20歳を迎えました。

した。

これをもって、新成人としての抱負とさせていただきます。

杉田ピムオン

今は、チュラーロンコーン大学政治学部の2年で、国際関係を専攻しています。

杉田ピムオンです。

一生懸命勉強して大学に入学したのですが、入ってみると、周りがみんな頭の良い人たちばかりで驚きました。それと、学部の男子学生の8割程度がゲイです。こちらの意味合いもとで

も気に入っています。

でも残念なことに、日泰重国籍者というのは22歳までにどちらか一方の国籍を選ばないといけないんですね。つまり、どちらか一方の名前を諦めないと不可以。それが少し心苦しくて、成人すると、ああ近づいてきたなあ、と思います。

でも、どちらの名前を選んだとしても、タイを作る、自分はタイを作っている、といつか胸を張つて言えるような大人になりました。

これをもって、新成人としての抱負とさせていただきます。

これが初めて、新成人としての抱負とさせていただきます。

杉田ピムオン

未だ大学も後2年あります

が、今日の成人の祝いをきっかけにして、これからは、社会に出た時の心構えも考えながら、勉強を続けたいと思います。

ありがとうございました。

松野亜里奈

初めてまして、松野亜里奈と申します。私はタイで生まれタイで育ちました。中学を卒業してから、高校はホームスクーリングで勉強し、今はバレエの教師をしています。

私は3歳からバレエを習い始

めました。小さい頃から踊ることが好きで、もともと職業にするつもりはなかったのですが、いつしかバレエの先生に憧れ、

私は、幼稚園だけは日系のメロディー幼稚園でしたが、小学校から高校まではタイの学校でしたので、日本人会のバイリンガルの子どものための日本語同好会に参加し、そこに来るのが楽しみでした。今でも、その時に知り合った友達とは、連絡を取り合っています。

た。20年生きてきても、この調子ですから、卒業して社会に出たら、もっともっと驚くことがありますが、いつもはなかったのですが、いつしかバレエの先生に憧れ、バレエ教師になりたいという夢を持ちました。もちろんバレーナになりたいと思っていましたが、足の痛みのためにダンサーの道は厳しいと考え、それからは、バレエ教師の道を歩んでいます。私は14歳から先生のアシスタントを務め、16歳には自分でバレエを教えられるようになりました。今年で教師歴6年目となりました。

そんな私が成人し、他の人は違う道を歩むことができ、至らぬ自分にチャンスを与えてくれた先生方や両親に、とても感謝しています。バレエの道が落ちて、いつしか自分の教室を持ちたいと思っています。

これからも夢を追いかけ、自分と教え子たちの無限の可能性を信じて歩み続けたいです。

春季彼岸法要

1878年（明治11年）から現在までの間にタイ国で亡くなられた571柱の御靈が安置されている日本人納骨堂で、春季法要が行われました。



1935年建立の日本人納骨堂には571柱の御靈が安置され、春と秋の彼岸に法要が行われています



20名以上の方々が参列されました

3月21日（水）、ワット・リップ内の日本人納骨堂にて、春季彼岸法要を執り行いました。日本人納骨堂は1935年（昭和10年）建立、今年で83年目となります。

1878年（明治11年）から現在までの間にタイ国で亡くなられた571柱の御靈が安置されており、毎年2回、春と秋の彼岸に法要を執り行っています。

今回は、日本人納骨堂堂守を3年8ヶ月務められた水木無我（みづき・むが）師と、22代目新堂守・小川大勇（おがわ・だいゆう）師によって読経されました。

在タイ日本国特命全権大使・佐渡島大使や島田会長をはじめ、御靈に縁のある方や彼岸参りに来られた方々を併せ20名以上が参列しました。

秋の彼岸法要は9月に予定しておりますので、ぜひご参列ください。

3月21日（水）、ワット・リップ内の日本人納骨堂にて、春季彼岸法要を執り行いました。日本人納骨堂は1935年（昭和10年）建立、今年で83年目となります。

1878年（明治11年）から現在までの間にタイ国で亡くなられた571柱の御靈が安置されており、毎年2回、春と秋の彼岸に法要を執り行っています。

今回は、日本人納骨堂堂守を3年8ヶ月務められた水木無我（みづき・むが）師と、22代目新堂守・小川大勇（おがわ・だいゆう）師によって読経されました。

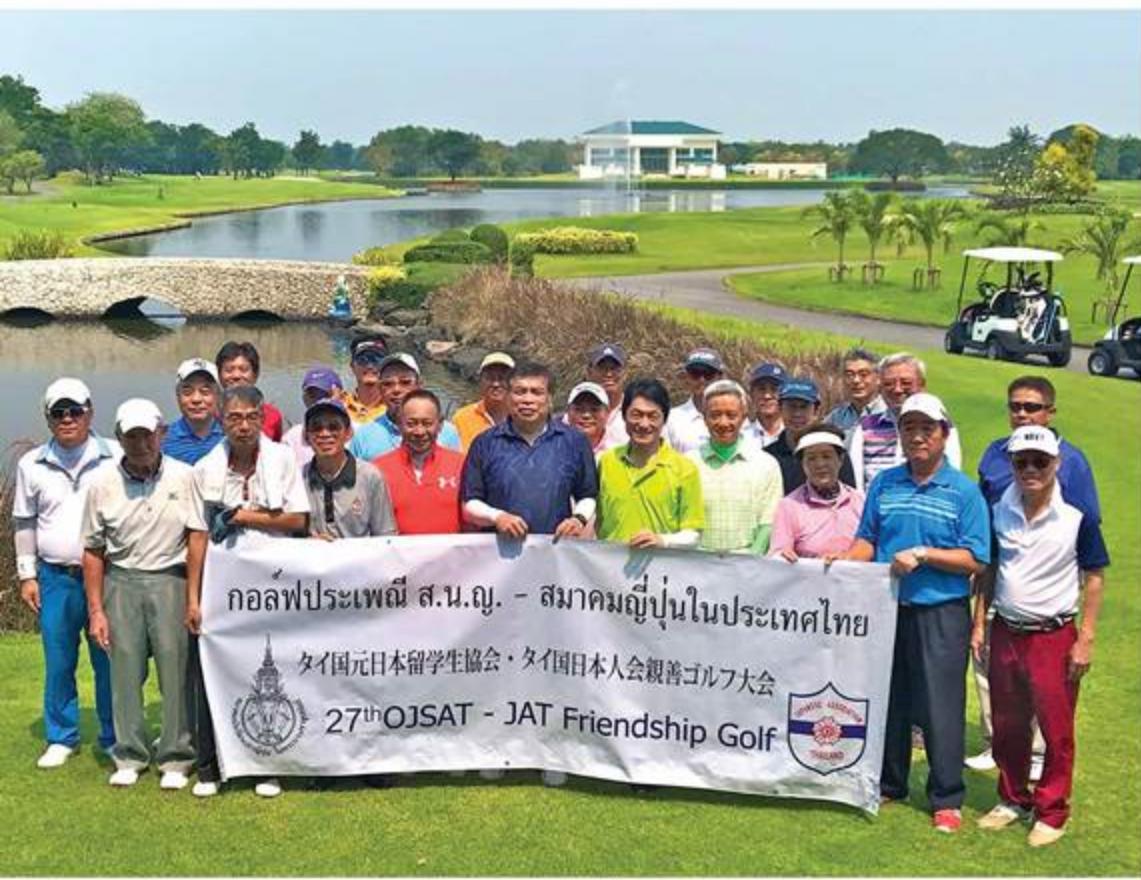
在タイ日本国特命全権大使・佐渡島大使や島田会長をはじめ、御靈に縁のある方や彼岸参りに来られた方々を併せ20名以上が参列しました。

秋の彼岸法要は9月に予定しておりますので、ぜひご参列ください。



第27回タイ国元日本留学生協会・日本人会親善ゴルフ大会開催報告

タイ国元日本留学生協会（OJSAT）・日本人会親善ゴルフ大会は年に一度開催される対抗戦。今大会は27回の歴史のなかで初めて76・6対76・6の引き分けでした。



集合写真

左からOJSAT
アドバイザーナタ
チャイ氏 (Mr. Nata-
achai Roochanas-
mite)、福島次席
公使、OJSAT
副会長スパチャイ
氏 (Mr. Suparchai
Tobhibul)、島田
会長



▼成績	1位 .. 山川喜美代様	2位 .. 田中康明様	3位 .. 大橋智樹様	▼平均ネット	日本人会	○JSAT	日本人会	○JSAT	▼参加人数	18名
	76	76	6	6	76	76	6	6

2018年2月25日（日）、The Royal Golf & Country Clubにて、第27回タイ国元日本留学生協会・日本人会親善ゴルフ大会が開催されました。タイ国元日本留学生協会（OJSAT）と日本人会の対抗戦で、各チームの平均ネットにて勝敗を決めるこの大会。今回は27回の歴史のなかで初めて76・6対76・6と引き分けとなり、勝負は来年に持ち越しとなりました。





▲関係各所の代表者と裏千家バンコク協会会員たち。向かって左から5番目シリキティヤー様、左から2番目、文化庁樋口氏、4番目、日本大使館小林氏、6番目、裏千家バンコク協会ブーイ、タイ文化省芸術局アナン氏、国際交流基金吉岡氏

►アユタヤー日本人村改修記念式典での御献茶。山田長政館の茶室、床の「泰日友好」はシリントーン王女殿下の筆。日本国大使館福島次席公使と共に王女様をお迎えする準備を終えて



▲「禅と茶道」の講演



►茶道実演の様子



裏千家バンコク協会

日タイ修好130周年記念行事に協力して

茶道裏千家淡交会バンコク協会会長

ブーイ文子（宗文）

アユタヤー日本人村改修記念式典でのシリントーン王女殿下への御献茶
並びにバンコク国立博物館「日本美術のあゆみ」展の日タイ友好茶会

皆様ご周知の通り、ここタイでは10月26日に国民から真に敬愛を受けておられましたブミボン国王陛下の大葬の儀が行われ、1年間の服喪期間があけました。しかし、国民の悲しみはまだ抜け切れず、それでも一歩一歩日常の生活を取り戻しながら、祝賀行事を少しづつ行なうことができ、当協会も日タイ修好130周年記念行事に協力をさせていただきました。

幾つかの茶道具と禅の墨蹟なども紹介されました。多くのタイの方々が日本美術・文化に高い関心を示し大好評であります。

そこで、当協会はこれらの関係機関から協力の依頼を受け、一般公募による200名程のお客様を迎えて、1月14日にバンコク国立博物館にて講演と実演による「日タイ友好茶会」を開催致しました。

まず、「日本美術のあゆみ」展がタイ文化省芸術局、国際交流基金、文化庁、東京・九州国立博物館の協力の下に、バンコク国立博物館にて2ヶ月間に亘り開催されました。日本美術が総合的に展示され、「信仰とくらしの造形」のテーマの中では、

西前頭6枚目に入つており、西前頭6枚目に入つております。同時に、茶人たちの不完全の美を求める侘茶を代表する日本茶の歴史、禅の精神性と茶道の関係、茶の理念「和・敬・清・寂」、茶室、露地、茶道具などについて、それから500年もの長い間交流関係を持つタイと日本、特にアユタヤ時代に

おける交易について言及しました。その交易品の一つサワーンカローク焼、それらが日本では宋胡録と称され、特に柿の手と呼ばれたマンゴスチンの形をした香合は、侘茶を好み茶人の鑑識眼に叶つたものであり、17世紀の小堀遠州は「すむころく」と箱書きに記しました。安政2年（1855年）に出版された形物香合番付表では宋胡録・柿香合は

のであつたと知り、簡素な不完全な美への意識が芽生えたとタイの学芸員たちが講演後に語ってくれました。日本文化の精神性についても理解していただけたようで幸甚でした。

第2部の茶道の実演では舞台の上に設えた茶室と仮床の掛け軸には、今回の日タイ修好130周年を記念すべき「日タイ友好茶会」に相応しいものを選びました。それは裏千家15代鵬雲斎大宗匠の筆による禅語の「千里万里同風」のお軸です。千里万里を隔ても吹く風は同じ、つまり日本とタイは地理的には遠く離れていても、時空を超えて一如であり、その友情は不变であると説明を加えました。そして、白井半七造の



▲茶を楽しむ参加者

蘭、竹、菊、梅が絵付けされた四君子の水指、茶碗は末広で発展を表すおめでたい扇面文様、主菓子は饅頭製でタイと日本の友情を象徴する水引の蝶結び、銘は「紺」と名付けました。皆その和菓子の精巧さと美しさを愛で写真に撮られました。亭主による静と美のお点前が進行し、正客はタイ、次客は日本の会員で彼らの呼吸と調和が美しい舞台となりました。

その後、舞台上での茶道体験、最後にはタイ国芸術局長と「臨席いただいたブミポン前国王の孫娘シリキティヤー様も壇上に上がり、初めてご自身で点てられたお茶に感激され、盛大の下に無事「日タイ友好茶会」を終了することができました。

さて、130周年記念行事の最後となりました2月21日には、アユタヤーの日本人村改修記念式典にシリントーン王女殿下がご臨席になられ、日本国大使館の要請で山田長政館にて御献茶をさせていただきました。ブミポン国王陛下

下が御崩御されてから、一層御多忙を極めておられます王女様に一服のお茶を差し上げることができ大変幸甚に思いました。王女様はしばしの間お寛ぎになれ、和菓子とお抹茶を楽しんでください、日頃から御厚情を賜っている当協会としましては誠に光栄なことであります。日タイ修好130周年記念行事に際して、微力ですが相互理解、友好親善に協力できましたこと、会員一同この上ない喜びでありました。王室ニュースで放映されましたので <http://news.ch7.com/detail/272987> をどうぞご覧くださいませ。

只今裏千家バンコク協会は新会員を募集しております。皆様も当会の茶室で一碗のお茶と和菓子を愛で、自然の恵みに感謝しながら一緒にお稽古をなさつてみませんか。

【お問い合わせ】ブーイ文子

(081-640-1700
3)、松下ひとみ(081-626-12086)、松本浩子

(085-199-7205)

【場所】シティリゾートアネックス
17階1706号室

バンコク短歌会

二〇一八年三月例会

三月二十五日（日）十七時十五分～十九時十五分 パーソナルコンサルタント社
（相聞歌または自由題）

過去といふ石垣崩しゆくごとくあなたの指を先よりなぞる

イーブン美奈子

恋の歌お上の前で競ひ合ふ大宮人はいい気なものさ

大口堂遊

君と共に歳をつむぎて幾星霜八十路の今も愛を育む

大口乃り子

菜の花のブーケ可愛や花嫁も背伸びしないで菜生子のまんま

斎藤由利子

結納の日に母が着たあのドレス娘の式に今日君が着る

申人

携帶の二行足らずの言の葉で幸せくれし君 忘れない

那須世子

お布団に春の陽たっぷり含ませて真白きシーツ添えて待ちます

藤島みどり

樹液の音聴きたしと木を抱きいる君に聞かせむ我が血の音を

森上美恵子

貧しきは身をさらすのみかP.M.ひ工事現場の一日が終わる

祐仙

僕らはね鶴鶴のように番ひたいさう云ふきみの四十九日

琉瑠

バンコク短歌会は、原則として毎月第四日曜日の十七時十五分から例会を開いています。

詳しくは幹事の森上美恵子までご連絡ください。初めての方、大歓迎です。

楽しく賑やかな会ですのでお気軽にどうぞ。ご参加をお待ちしております。

電話 ○八九・八九一・一六八三

メール mickobkk@gmail.com

恋の歌（相聞歌）は、千三百年前の『万葉集』の頃から多く詠まれていました。万葉びとは視・聴・嗅・味・触の五感を研ぎ澄まし、キラキラと目を輝かせていたのではないでしょうか。

現代に生きる私たちも時には、空や花に目を向け、鳥の声に耳を澄まし、心が感じて動いたこと（感動）を三十一文字（五七五七七）に表わしてみませんか。

対象を深く見つめれば、今までの景色がきっと違つて見えるてくるはずです。わくわくする気持ちはあるで恋をしている時のように。またも恋の歌を一首詠んでみませんか。口語体で素直に気持ちを表せばいいのです。そして短歌会のドアをノックしてみませんか。お待ちしております。

（美恵子）

理事会議事録（101八年三月十二日（火）開催）

- ・会長報告（出席案件）
 - ・二月二十日（火）タイ赤十字社への献血車納車式 @タイ赤十字
 - ・二月十一日（水）アユタヤ日本人町リニューアル記念式典
 - ・二月十二日（木）表千家立礼会茶会 @本館
 - ・二月十三日（金）文化部同好会
- 「タイを知る会のつどい」三十周年 @本館
 - ・二月十五日（日）タイ国元日本留学生協会（OJSAT）との親善ゴルフ大会 @ザロイヤルゴルフC.C.
 - ・二月十八日（水）成人の日祝賀会 @本館
 - ・三月三日（土）ANA寄席
 - ・三月九日（金）タイ東レ科学振興財団贈呈式
 - ・三月十日（土）日本人学校卒業証書授与式 小学部・中学部
 - ・三月十一日（日）新堂守得度式 @ワット・リアップ
- 二、一般報告
 - （一）二月度個人会員動向
 - 入会者 九十五名
 - 退会者 一三八名
 - 現会員数 七、〇四九名（内、準会員四十二名）
- （二）一月度賛助会員動向
 - （入会 一社）
 - ・Teppen (Thailand) Co.,Ltd.（業種：飲食店）
 - （退会 ○社）
 - 現会員数 五六三社
- （iii）二月度寄贈報告

- ・本の寄贈
 - ・笛井重穂様、増田吉孝様、大口堂遊様、古川五朗様、土志田諭様、川崎京子様、福音館書店様、その他六名（順不同）より、三八五冊の寄贈
 - ・現金の寄付
 - ・永崎亮寛様より 納骨堂カンチャナブリ基金へ三万円
- 三、チャリティー寄付支援申請報告
 - ・サンファンサンティペー財団
 - ・二〇一七年度申請… 工作室兼倉庫の屋根修理費用 八万バーツ
 - （二〇一六年度申請… 台所裏崖崩れ改修工事費八万バーツ）
 - ・シーカーアジア財団
 - ・二〇一七年度申請… 学生寮の環境改善活動費 九七、八〇〇バーツ
 - （二〇一六年度申請… 新書購入・図書館改善・植樹費用六万バーツ）
- 四、二〇一八年度 理事・監事選挙（事務局）
 - 二〇一八年理事・監事選挙関連日程等
 - ・選挙公示日 投票日（総会当日）の二ヶ月前～二月二十六日（月）
 - ・立候補受付期間 公示日二月二十六日（月）～三月十九日（月）
 - ・不在者投票日 （三日間設定）
 - 四月二十三日（月）二十四日（火）二十五日（水）
 - ・本投票日（総会日）
 - （四月二十六日（木）十五時～十八時（予定）@総会会場）
 - 九時～十七時@本館・別館（予定）
- 五、二〇一八年予算審議案（鰐理事）
 - 【二〇一八年度予算案検証】
 - 健全な財務基盤の持続的維持が期待できる予算案策定

二〇一八年度收支予算として、収入については、昨今の会員減少を見込み、平均個人会員数六、七〇〇名（今期実績ベース）にて算出。支出については、二〇一七年度三月末実績見込みに對して基本ゼロシリングという前提にて、各部・委員会へ依頼し策定頂いたが、予算審議委員会では、以下の通り各項目について、審議を行つた。

【収入】
1. クラブ部＝レストラン賃料について、近隣の賃貸価格の相場を確認し、賃料の値上げを検討して頂きたい。

【支出】

【将来の収入増（会員増）が見込めると判断される支出】

- 厚生部＝すぐすく会への補助の増額
- 広報部＝入会のしおりの改訂費用

【検討の結果、収入増（会員増）が見込めないと判断した支出】

- 運動部＝チャリティーゴルフ（五万バーツ）・ゴルフ月例会補助（二四、〇〇〇バーツ）→会員増に繋がる施策と考えづらいため、見送りとした。

【検討の結果、実績程度に抑制できると判断した支出】

- 文化部＝イベント費用の補助（二十万バーツ→二〇一七年度実績程度に削減 五五、〇〇〇バーツ）

但し、日本人会を活性化または、会員増が期待できる文化部イベントについては、理事会に提案して頂き、理事会承認のもと実行する。
【既存会員の維持に必要と判断される支出】

- クラブ部＝防犯カメラの設置

【検討の結果、見直しが必要と判断した支出】

- 会報部＝クリンテープ誌印刷製本代（三八万バーツ）に関しては、外部環境変化も鑑み、クリンテープ誌の在り方を検討し、十月（具体的な施策を実施できるよう、六月までに削減プラン（五十万バーツ）の提示を会報部長に依頼したい。（理事会提案→承認）
結果、支出の総額としては二〇一七年度予算（除ラムウォン費用）

以下に抑えたが、全体の収入減により年度内收支差が約一九七万バーツのマイナスとなつた。そのうち、会館クラブ基金への繰入三十万バーツ、退職金積立金への繰入三十五万バーツで、実質の収支差は約一三九万バーツとなつた。

また本予算書には、金額の計上をしていないが、二〇一七年度予算同様、総額百万バーツを上限に日本人会を活性化するための予算として確保し対象案件につき理事会承認の下、本予算を修正し支出することとする。

六、新企画委員会設置案と日本人会規約改訂（事務局）

会員減の傾向が続き、時代に合わせた日本人会の改革が早急に必要と判断。副会長を現行の三名から五名とし、日本人会の活動を強化させる。
具体的には、「日本人会活性化企画部（仮称）」を新設し、副会長を企画部長とするなど体制を強化していくたい。

【現行規約】

第3章 組織・機能

第15条..1. 理事会において理事中より会長一名及び副会長三名以内を互選する（二〇〇八年四月改正）

【改訂規約】

第3章 組織・機能

第15条..1. 理事会において理事の中より会長一名及び副会長五名以内を互選する（二〇一八年四月改正）

→ 異議なし。四月の定期総会の議題とする。

- 七・タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請
・対象事業名・腰塚勇人先生 命の授業タイ国バンコク講演会
・開催日　..二〇一八年四月二十九日（日）
午前の部十時半より十二時、午後の部十五時半より十七時
・申請者　..細谷 文男様

・要請事項・日本人会後援名義、ロゴ使用及び広報協力
→ 異議なく承認された。

八、理事退任報告と新理事承認（渡辺理事）
理事退任報告

・酒井 隆司氏 (NYK Line (Thailand) Co.,Ltd.)
新理事承認

・田中 丞氏 (Yusen Logistics (Thailand) Co.,Ltd.)
→ 異議なく承認された。

九、古田元副会長、名誉会員推薦について（島田会長）
日本人会規約第二章五条第二項に則り、長年に亘り理事として、タイ
国日本人会に貢献してこられたことを称え、古田勝也元副会長を名誉会
員に推薦。

→ 異議なく承認された。

十、各部・各委員会報告及び提案等（報告順）
(一) 婦人部（武内理事）
四月二十四日（火）色彩心理（カラーセラピー）講習会開催予定。

(二) 教育部（酒井理事）
一月十八日（日）、二〇一七年度第三回英検二次試験を日本人学校にて
開催。受験者合計二〇八名。ボランティア受付五名、試験監督十三名。
二次結果配布は三月二十一日（水）より開始。
今後の予定。二〇一八年度第一回英検日程、申込受付五月三日（木）、
一次試験、六月三日（日）、二次試験七月一日（日）。

(五) 在タイ日本国大使館（野中領事部長）

二月下旬以降、集会はほとんどないが、二月二十四日、三月十日タイマ
ーのホームページアクセス状況は、訪問数五、八九三。閲覧数一四、
サークル大学にて、学生と活動家によつて反政府集会があつた。三月二日

九三七。前年同月比、訪問数一二一、七%、閲覧数一〇五、一%。前月
比は、訪問数八七、七%、閲覧数八六、一%。

会員優待店のページについて、整理し集約した為、閲覧数が上昇。入
会や英検に関連した閲覧数も比較的多い。また、上位ではないが、今月
は同好会等のイベントが通常月より多く開催されたため、関連ページの
閲覧数もそれ多めである。

(四) 青少年部（伊藤理事）

（二月のサークル対外活動報告）

・サッカー 二月四日（日）ベトナム日本人学校チーム来タイ記念
・野球 二月十日（土）サンダース交流戦（於：ミネベアグラウンド）
・サッカー 二月十七日（土）ジラクレール（一般スクール）との
練習試合（中学部）

・バスケットボール 二月十七日（土）

Trail International School との練習試合

・バレーボール 二月二十二日（金）

Wells International School との交流試合

（三月以降のサークル対外活動予定）
・バスケットボール 三月三日（土）

Anglo Singapore International School との練習試合

・三月六日（火）～四月二十五日（水）の間、日本人学校休みの為、サ
ークル活動も休止。

・茶道サークル、柔道サークルは、四月以降サークル活動場所の一部を
別館に変更。今後豊を別館に移動する予定。

より新しい政党の登録が始まり、三月下旬まで続く。既存の政治家や活動家は、学生と距離を置いているとの報道があるが、今後も引き続き注意して頂きたい。

(六) 食堂運営委員会（石井理事）

来月は食堂と日本人会との契約更新月となる。二〇〇数年、毎年少しずつ家賃を上げている。二〇〇七年度時点では、電気代、水道代、税金合わせ二万五千～七千バーツだったが、私が食堂運営委員長になってから家賃を倍にし、徐々に家賃を上げていき、三年前の本館と食堂の改装の際は二十二%の膨大な家賃の値上げをした。今後も値上げを続け、食堂の家賃によって、日本人会本館の光熱費、諸費用を賄つていきたいと考えている。

来年度は六万バーツを目途に値上げを検討している。

(七) 事業部（石井理事）

・二月二十二日（木）表千家立社会茶会、本館にて開催。大使館より、小林広報文化部長、島田会長、計二十八名が参加。（表千家家元参与川村 賢司教授）
・三月十一日（日）新堂守、小川師得度式をワットリアップにて執り行つた。約六十名）参列。

(八) 会報部（川端理事）

クルンテープ四月号の表紙はランペーン県、ワットプラブッタバートパーク。特集は中学一年生の多文化理解学習。投稿は「クルンシイ アユタヤ『絆』駅伝に参加」。連載は「河の都アユタヤー」、「バンコクの日本人」。

(九) バンコク日本人学校（室賀校長）

・三月十日（土）小学部、中学部卒業式。

・三月十五日（木）が終業式となり、三十六日間の春休みに入る。

・三月十九日（月）、教職員の約三分の一、四十三名、家族含め約百名が帰国となり、四月六日（金）家族を含め、新たに約百名近くが着任。
・グラウンドについて。現在、中学部を第一グラウンドに増築するかどうか検討が続いている。日本人会ソフトボール大会に日程に影響が出る可能性がある為、決まり次第ご報告する。

・来年度の生徒数、今年度とほぼ変わらず約一、七〇〇名となる見込み。

(十) JICA（鯉沼代表）

子供だけでなく、親も参加できる場を提供して欲しいとの要望があり。来年度、親と子のODA視察第一弾、ペーブルラインの操作場見学を、現地集合現地解散で計画している。

(十一) JETRO（小篠代表）

福島産ヒラメPRイベントが中止となつた。イベントに参加予定だったレストランなど、JETROも協力し二月に福島県へ招聘していた。日本側でも検査され安全が担保されているので、今後改めてイベントを開催していきたいと思っている。今後皆さんのご理解、ご協力をお願いしたい。

(十二) 盤谷日本人商工会議所（堤事務局長）

四月二十七日（金）定期総会をインターコンチネンタルホテルにて開催。総会後は、国際政治学者、同志社大学法学部教授、村田晃嗣氏の講演会を開催予定。

(十三) タイ赤十字社へ献血車納車（事務局）

二月二十七日（火）タイ赤十字社へ献血車納車式を National Blood Center にて執り行つた。福島次席公使、島田会長、鱸理事、タイ赤十字社より、Dr.Chomchin Chantaraskul、Dr.Charuporn Promwong 副テ

イレクター、Ms.Aranya Loiswai が出席。

(十四) 運動部（事務局代理）

二月十八日（日）ゴルフ部第六九四回月例会をラムルツカC.C.にて開催。シニア優勝小笠原典正氏、Aクラス優勝川俣栄氏、Bクラス優勝大西敏氏。

二月二十五日（日）第二十七回タイ国元日本留学生協会・タイ国日本人親善ゴルフ大会をザロイヤルカントリゴルフC.C.にて開催。各チームの平均ネット七六、六対七六、六で引き分け。日本人会十八名、タイ国元日本留学生協会八名、合計二十六名の参加。個人戦 優勝山川喜美代様、一位田中康明様、三位大橋智樹様。

(十五) 厚生部（事務局代理）

二月二十八日（水）成人の日祝賀会を本館にて開催。成人対象者三十名中、五名が参加。その他、成人親族十名、理事三名が参加。余興では、文化部同好会・ゴスペルクリワイヤーPhriks が歌を披露。

十一、日本人会今後の予定（事務局）

- ・三月一十一日（水）日本人納骨堂春季彼岸法要
- ・四月一日（月）日本人移民之碑法要
- ・四月二十六日（木）定期総会 十八時より
ザ・ランドマークホテルバンコクにて開催
- ・日程未定、新規イベント、アユタヤー日本人町ツアーセミナー企画中

十二、二月度理事会議事録

→ 異議なく承認された。

十三、理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、森本、三枝両副会長、鱸、渡辺、伊藤、酒見、黒田、仲野、

頃末、川端、土田、石井、武内、酒井（NYK）各理事、相原、宮崎監事、野中大使館代表、室賀日本人学校代表、藤下報道代表、鯉沼JIC A代理代表、小篠JETRO代表、吉岡国際交流基金代表、堤JCC代表、事務局（磯田・熊本・村上・渡邊）

メナム句会 二〇一八年三月句会

三月十日（土）十五時半～十八時

於・日本人会本館会議室

兼題 ▼春の星（春星） ▼猫柳 ▼梯梧の花（海紅豆）
／当季詠（投句 五句）

◆ 今月のエッセイと自選二句（順不同）

梯梧は、歳時記では夏の季語だが、タイでは今が盛り。沖縄県の県花。沖縄戦の悲劇を歌った「島唄」のヒットで有名に。インド原産。鮮やかな紅色の花。タイ国花の「金雨花」や火炎樹ほどは市内で見かけない。皆さんが公園などで見つけたら、俳句会幹事にご一報頂ければ有難い。（堂遊）

マンゴ雨ここでともかく一休み 大口 堂遊
鳥曇なにかいことありさうな 大口 乃り子

春の星かけら繋ぎて首にかけ 華梯梧下に主るぬ三輪車

着雪の小枝が並ぶ美しさ たまさかの晴れ間を縫つて雪の靴

母の背の手にゆらゆらと猫柳 春の星零となりてほほ伝ふ

春星の一つ光りて安着す 記念碑に負けぬ梯梧の花盛り

山本 良子

堀井 京子

嵯峨 春野

◆ 句会仲間、募集中！

初心者も大歓迎です。

今や多くの国々でも愛されている俳句（HAIKU）。
タイでの日常を五七五にして、皆で楽しんでみませんか？

◆ 句会予定

四月句会 四月七日（土）十五時半～に変更となります。

▼場所・日本人会本館会議室

▼兼題・花、遠足、暑季

五月句会 五月十二日（土）、日本人会本館会議室

◆連絡先

幹事 山本良子 yoshiken@truemail.co.th

イーブン美奈子 ○九〇一九七〇一一五六
minakobar@gmail.com

沈丁花何処で香る夜の闇 藍原 光恵
流木よ向けて流れよ故郷へ

さらさらと生れて消えて春の星
朝の鳥でいごの花をついばみに

イーブン美奈子

春愁ふ都市に禁止事項多し
かつて補給路今は梯梧の通学路

岩田真之介

梯梧咲きゴーキヤンの裸婦髪繕ふ
春の星ウインクすれば幾光年

浮田 恒夫



中央シリントン王女殿下を囲み、左から鱸理事、ウポンウォン・チャルーンルアンギット氏（タイ赤十字社 国立献血センターディレクター）、ペーン・ワンナメティ氏（タイ赤十字社 事務局長）、島田会長、三枝副会長、森本副会長



シリントン王女殿下へ島田会長より献血車の鍵の贈呈（写真
提供：タイ赤十字社 Photo Credit: Thai Red Cross Society）

3月28日（水）、タイ赤十字社にて2月20日（火）に行われました献血車の納車式に続き、鍵の贈呈式がシリントン王女殿下立ち会いのもと行われました。2017年、日タイ修好130周年の記念事業として、タイ国内の生活面、健康面等、社会生活継続において困っている方々のお役に立ち、広くタイ社会に繋がりがもてる支援をと検討した結果、チャリティー基金創設以来、過去最高額となる800万バーツ相当の献血車の寄贈を決定しました。

贈呈式は、タイ赤十字社のNational Blood Center（国立献血センター）にて、タイ赤十字社のエグゼクティブ・バイスプレジデントでもありますシリントン王女殿下（H.R.H. Princess Maha Chakri Sirindhorn）、タイ赤十字社事務局長のペーン・ワンナメティ氏（Mr. Phan Wannamethee）、国立献血センターディレクターのウポンウォン・チャルーンルアンギット氏（Cdr. Ubonwon Charoonruangrit）、日本人会より島田厚会長、森本斎副会長、三枝則生副会長、鱸正明理事が出席しました。

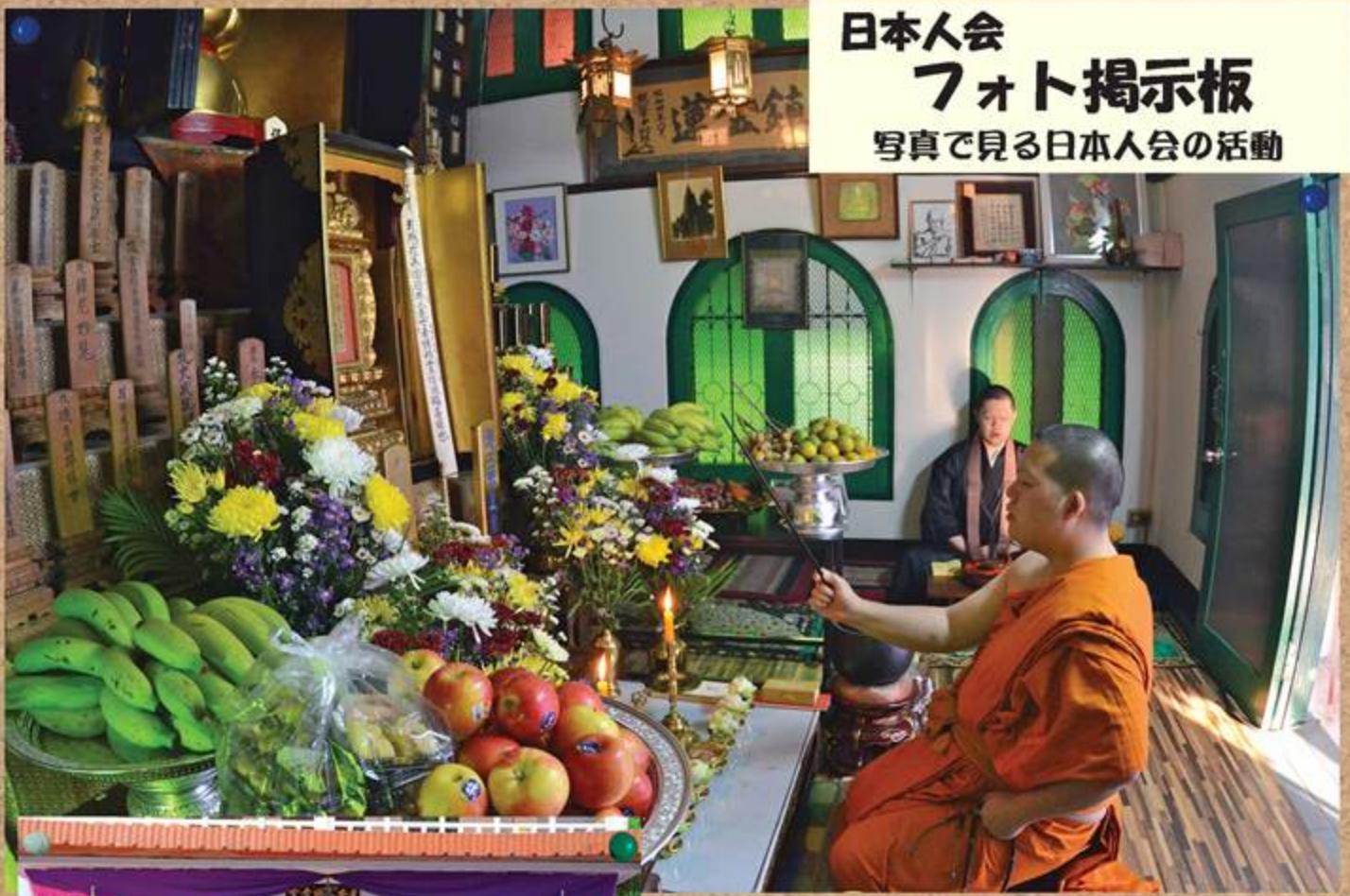
タイ国日本人会では、これらもタイ社会と長きに渡り友好関係を継続し、タイ社会への感謝の気持ちを込めて、社会貢献活動を開いていきます。



献血車贈呈式

日本人会 フォト掲示板

写真で見る日本人会の活動



事業部「春季彼岸法要」3月21日(水)
於・ワット・リアップ内日本人納骨堂
↑水木無我師と第22代目新堂守の小川大勇師(写真上・手前)
⇒在タイ日本国大使館佐渡島大使(左)と日本人会島田会長



事業部「新堂守・小川大勇師の得度式」3月11日(日)
於・ワット・リアップ

文化部▷将棋同好会「日本人会春季将棋大会」
開催 3月4日(日)

写真 (法要・得度式) : 濑戸正夫

華やかな縁飾りはスイカの種の金平糖

黄金の星ダーラートーン

タイの
お菓子は
二度
おいしい

連載
43



ダーラートーン(だらーとーん)、あるいはカノム・ジャーモンクット

華やかなタイ菓子の代表格、黄金の星ダーラートーン。結婚式などの祝事に供されるお菓子です。ふつくらとした黄色い部分は、ココナツミルクに砂糖を煮とかし、卵黄と小麦粉を加えて練り上げたトンエークというお菓子。和菓子の練り切りに似た食感です。このぽつりしたボディを底で支えるのが軽く塩味のきいたパイ。その上の帽子のつばのような縁

飾りは金平糖のようなスイカの種です。見るからに手がかかりそうですが、なかでも難易度の高い部分がこの縁飾り。ごく細い火にかけた銅鍋に、殻から出したスイカの種を入れて、砂糖蜜に浸した指先で、そつとかきませながら煎ります。蜜が結晶化して、金平糖のようにトゲのある砂糖衣が全体をおおうには、最低3時間。繊細で壊れやすいため、ヘラのよう

な道具は使わなくて素手で煎るのだと教えてくれた師匠は、2月から3月にかけてドウシント宮殿の敷地で行われたチャリティーアイベントでお菓子作りのデモンストレーションをなさっていた宫廷内職業訓練学校の先生でした。

掲載写真はそちらで求めたダーラートーンです。しかしこれを私はカノム・ジャーモンクットとして購入しています。いつからなのか定かではありませんが、そう呼ばれてきたお菓子なのです。

カノム・ジャーモンクットをタイ語の辞書で引くと「米粉をココナツミルクで練つた白いガラメーに似た菓子」という説明があります。にもかかわらず大半の料理本には、黄色いこの菓子がジャーモンクットとして載っています。

ある時、昔ながらのジャーモンクットを作っている村があるという記事から、「本物」は干したバナナの葉に包まれた素朴な米粉のお菓子であることを知りました。が、派手なこちらがもとは何と呼ばれていたのか分からずじまい。再度調べてみたら、かつてはトンエーク・グラジャンと名づけられていたこと、ピブーンソンクラーム政権時代に行われたお菓子の大会にダーラートーンの名前で出品され、その名が広まつたことを知りました。いつからジャーモンクットになつたのかは未だ不明です。

な道具は使わなくて素手で煎るのだと教えてくれた師匠は、2月から3月にかけてドウシント宮殿の敷地で行われたチャリティーアイベントでお菓子作りのデモンストレーションをなさっていた宫廷内職業訓練学校の先生でした。

掲載写真はそちらで求めたダーラートーンです。しかしこれを私はカノム・ジャーモンクットとして購入しています。いつからなのか定かではありませんが、そう呼ばれてきたお菓子なのです。

カノム・ジャーモンクットをタイ語の辞書で引くと「米粉をココナツミルクで練つた白いガラメーに似た菓子」という説明があります。にもかかわらず大半の料理本には、黄色いこの菓子がジャーモンクットとして載っています。

ある時、昔ながらのジャーモンクットを作っている村があるという記事から、「本物」は干したバナナの葉に包まれた素朴な米粉のお菓子であることを知りました。が、派手なこちらがもとは何と呼ばれていたのか分からずじまい。再度調べてみたら、かつてはトンエーク・グラジャンと名づけられていたこと、ピブーンソンクラーム政権時代に行われたお菓子の大会にダーラートーンの名前で出品され、その名が広まつたことを知りました。いつからジャーモンクットになつたのかは未だ不明です。

砂糖蜜をからませて白く結晶化させた金平糖のようなスイカの種

すくすく会通信

Vol.1

キッズルーム

キッズルームイベント

● プレパパ&ママクラス

妊娠中から産後までパパがママにしてあげられることを具体的に教わり、DVDを見て、パンコクでの出産体験談をご夫婦対談形式聞きました。——— 3月10日(土)



● マタニティヨガ・助産師さんとマタニティお茶会

簡単なポーズから始まったヨガ。終始深い呼吸を心がけることで、最後のクールダウンまで心身ともにリラックス。助産師さんとのマタニティお茶会は、妊娠中に知っておきたいよい母乳育児や産後の話を聞き、楽しい時間を過ごしました。——— 2月27日(火)

● カラー診断

パーソナルカラーアナリストが各参加者に似合うピンク色を診断。軽いメイクもしていただきました。

——— 2月2日(金)



● 英語リトミック

親子でのびのびと、英語や音楽にふれながら身体を動かし楽しく遊びました。——— 2月6日(火)



● ぶちりトミック <ねんね あんよ>

ねんねちゃんとあんよちゃんそれぞれに合わせて、身体を使った歌遊びや手遊びを親子で楽しみました。———

2月27日(火)



出産準備教室

タイで生活されている妊婦さんとご家族を対象に、出産準備母親教室と両親学級を開催します。

■ 出産準備母親教室

5月16日(水) 9:30~11:30 (9:15 受付開始)

妊娠中の生活と出産の流れ、バースプランについて、出産準備品の説明、タイで出産された方の体験談、フリートーク。産前・産後ママの気になる情報を是非この講座で聞いてみてください。経産婦さんでもお子さん連れでもご参加いただけます。お友達作りにも！

■ 両親学級

6月16日(土) 9:30~11:30 (9:15 受付開始)

沐浴、おむつ交換の実習、父親の妊婦体験ジャケット着用、父親の体験談。プレパパとプレママで、実習をしながら出産について一緒に考えてみましょう！ ご夫婦10組限定とさせていただきます。必ずご夫婦でご参加ください。

※各回、日本人会別館開催。参加費無料、別途テキスト代100バーツ。詳細、申し込みはHPへ。

Look

Look

ぶっぱいミーティング

妊婦さんには授乳についての講義を、産後のママさんには育児についての様々な悩みや疑問を、スタッフの体験談を交え、座談会形式で行っています。基本的に毎月第3火曜日、サミティベート病院で開催。

Look

次回は5月15日(火)

9:30~11:30 (予定)。

申し込みはHPより。



子どもたちも盛り上がっていますよ～



パパママ子どもたち集まろう すくすく会！

—バンコクで楽しい仲間づくり—

聞いてみよう！
バンコクの妊娠、出産



出産準備教室

集まろう！産後のママさん！
一緒に語らいましょう！



おっぱい ミーティング

親子で
遊んで
学んで
笑顔になれる！



わんぱく ミーティング♪

ママ達が取材して作ってます！
子育て情報満載の会報をお届けします！



すくすくだより 編集部

親子の遊び場！
イベントも随時開催



すくすくキッズルーム



すくすく会のホームページ 詳細・申し込みはこちらから
<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

イラスト：ずんこ